

PROJECT MANAGEMENT SYMPOSIUM JAPAN 2022

# PMM シンポジウム 2022

## 「明るい未来を創る」

～イノベーション、SDGsを支えるプログラム&プロジェクトマネジメント～

9 / 15 Day 1 THU - 16 Day 2 FRI

タワーホール船堀 (江戸川区総合区民ホール)

主催：特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会(PMAJ)

後援：経済産業省(METI) 予定 / 一般財団法人エンジニアリング協会(ENAA) 予定

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO) 予定 / 独立行政法人情報処理推進機構(IPA) 予定

ハイブリッド  
開催

会場&オンライン

会場参加中止の場合あり  
詳細はWEBページを  
ご確認ください

# PMシンポジウム 2022

PMシンポジウム2022大会テーマ

## 「明るい未来を創る」

～イノベーション、SDGsを支えるプログラム&プロジェクトマネジメント～

今回のシンポジウムのテーマは「明るい未来を創る ～イノベーション、SDGsを支えるプログラム&プロジェクトマネジメント～」です。

デルタ株やオミクロン株といった変異株が現れたことで、COVID-19はその勢いを緩めず社会的な混乱は継続しています。しかし、その混乱の一因として、従来からの書類(紙)主体の業務や、硬直化した制度(規制)などが認識され、これからのWith and After COVID-19を見据えて、色々な取り組みが始まっています。

また、未来のために2015年9月に国連サミットでSDGsが採択され、多くの国でその実現が推進されており、日本政府も2050年までにカーボンニュートラルの実現という高い目標を掲げています。しかし、その実現には相反する事象(コンフリクト)が発生するのも事実です。例えば、再生可能エネルギーの拡大vsエネルギーの安定供給、環境保全vs経済成長、AI等の技術革新vs働きがいなどです。こうした状況下では、単一目的のプロジェクトだけでの課題解決は困難であり、複数のプロジェクトを同時並行的に実行し、全体最適解を導き出す必要があります。

このような、目標が高く・複雑で・長期で・多くの調整が必要な、複数のプロジェクトを計画し実行するためには、「現状の姿」と「あるべき姿」とのギャップを高い視点と広い視野で分析し、深い洞察をもってゼロベース&バックキャストで環境や状況の変化を考慮したプロジェクトを柔軟にデザインするプログラム・マネジメントが必須となります。更に、未来を先導するためには大きな変化と流れを深く洞察し、イノベーションを加速化し、社会課題の解決を通じて変革を推進する力が必要です。

今回のシンポジウムでご紹介する、先進企業のDXの取組み、社会課題の解決、マネジメントや人材育成などの事例を通して、プログラム&プロジェクトを効果的に計画し推進する知識を獲得し、イノベーションやSDGsを実現に繋げる一助となれば幸いです。

### 各種ポイントの発行について

発行ポイントは次のとおりです。

**CPU** ■ Day1 : 12ポイント ■ Day2 : 12ポイント

**PDU** ■ Day1 : 6PDU ■ Day2 : 6PDU

PMP<sup>®</sup>資格認定試験用受講証明書を発行いたします

**実践力  
ポイント** ■ Day1 : 1.5ポイント ■ Day2 : 1.5ポイント

【PMI】【PMP】【PMBOK】は、Project Management Institute, Inc. (PMI)の登録商標です。

【BABOK】は、International Institute of Business Analysis (IIBA)の登録商標です。

【MSP】【PRINCE2】【ITIL】は、AXELOS Limitedの登録商標です。

【IPMA】【ICB】【OCB】【IPMA Delta】は、International Project Management Association (IPMA)の登録商標です。

【PMAJ】【P2M】【PMR】【PMSJ】は、日本プロジェクトマネジメント協会 (PMAJ)の登録商標です。

KN-1

## デジタル技術で創る日本の未来

10:00~11:00

～実現に向けて、今取り組むべきこととは～

TIS株式会社 代表取締役社長

岡本 安史 

日本を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症に起因する働き方・生活様式の変化、広範囲にわたる経済的影響など、大きな転換期を迎えた。また、超高齢化社会・労働人口の減少、地方の衰退、環境問題等、取り組むべき社会課題も多く、成長戦略を簡単に描けるような状況とは言い難い。

一方で、AI/IoT、クラウドなど技術革新は飛躍的に進展しており、これらの技術によって蓄積されたデータを利活用することは、日本の諸問題を補完するだけでなく、社会課題の解決につながる未来への可能性を秘めている。それらを後押しするように、政府では「デジタル田園都市国家構想」を掲げ、社会へデジタルの実装を進めるべく、法規制の整備と積極的な投資を繰り返している。

これらの潮流を下支えする情報システムを取り扱う企業、デジタル技術を活用したサービスを提供する企業が、日本の明るい未来を創るために今取り組むべきこと、その進め方のポイントについて、当社グループの実事例を用いながら解説を行う。

## 【講師略歴】

1962年、大阪府生まれ。85年、東北大学理学部卒業。同年、東洋情報システム(現TIS)入社。2011年、執行役員企画本部企画部長。13年、常務執行役員ITソリューションサービス本部長。16年、専務執行役員産業事業本部長。18年、取締役専務執行役員サービス事業統括本部長。20年、取締役副社長執行役員。21年4月1日、代表取締役社長に就任。



KN-2

## DXの思考法

10:00~11:00

東京大学未来ビジョン研究センター 客員教授

西山 圭太 

今我々は決定的な変化の時代の只中にいる。その主要な原因の一つがAIなどのデジタル技術の進展である。デジタル技術は「単なるツール」を超えている。デジタル技術を使いこなし、企業であれ行政であれDXを実現しようとする、「ビジネスとは何か」「産業とは何か」「組織とは何か」といったことについて、我々はこれまでの捉え方や発想の転換を求められる。特に日本の場合には、ビジネスであれ行政であれ、組織の縦割りから発想する癖、目の前にある具体的なものを改善することから発想する癖が、組織にも個人にも染み付いているので、発想の転換の必要性が特に大きい。発想の転換に成功し、「DXの思考法」を身につけることができれば、自分の仕事やビジネスが今までとは違って見え、アイデアが次々に湧くはずである。発想の転換ができないと、DXは「時々変わる改革テーマの一つ」、「新たな残業と悩みの種」で終わる。発想の転換は、プロジェクトマネジメントの今後を考える上でも必要なはずである。

## 【講師略歴】

1985年東京大学法学部卒業後、通商産業省入省。1992年オックスフォード大学哲学・政治学・経済学コース修了。産業革新機構専務執行役員、東京電力経営財務調査タスクフォース事務局長、経済産業省大臣官房審議官(経済産業政策局担当)、東京電力ホールディングス取締役、経済産業省商務情報政策局長などを歴任。日本の経済・産業システムの第一線で活躍したのち、2020年夏に退官。著書に「DXの思考法」(文藝春秋)。



# プログラム

9/15  
THU  
Day  
1

Live 9/15ライブ配信 / 9/18~10/15オンデマンド配信	
9:45~10:00	開会挨拶
10:00~11:00	基調講演 [KN-1] デジタル技術で創る日本の未来 ~実現に向けて、今取り組むべきこととは~ TIS 岡本 安史 <span style="float:right">S</span>
11:20~12:20	主催者講演 [SP-11] 第5次産業革命前夜 ~明るい未来を創るプログラムマネジメント~ PMAJ 加藤 亨 <span style="float:right">S</span>
13:20~14:20	特別講演 [SP-12] 水害の歴史と地域知から探る災害対策・対応 ~世界遺産・熊野本宮大社を取り巻く地域社会~ 京都大学地球環境学堂 落合 知帆 <span style="float:right">S</span>
14:40~15:40	特別講演 [SP-13] システム思考とレジリエンスで捉えるセーフティ&セキュリティ ~先端セーフティ理論に学ぶデジタル社会のITリスクマネジメント~ NTTデータ / 国立情報学研究所 金子 朋子 <span style="float:right">T</span>
16:00~17:00	特別講演 [SP-14] 空の移動革命への挑戦 ~日本発 空飛ぶクルマと物流ドローンの開発~ SkyDrive 宮内 純枝 <span style="float:right">T</span>

## 9/17~10/15オンデマンド配信

プロジェクトマネジメント実践	戦略及びビジネスマネジメント	社会課題解決	イノベーション
[PM-11] プロジェクトマネジメントとエンターテインメントの秘密 ~プロジェクトマネジメントをイノベーションするコンテンツと影響力の科学~ トヨタシステムズ 河路 裕司 <span style="float:right">CfP L</span>	[BS-11] システムを作らせる技術 ~システム導入に失敗しないために発注者がなすべきこと~ ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ 白川 克 <span style="float:right">T</span>	[SS-11] 職場重視モデルから考える女性活躍推進を成功させるマネジメント 聖心女子大学 大槻 奈巳 <span style="float:right">L</span>	[IN-11] ビジネス創出におけるSTEMの役割と重要性 FCNT 井上 栄 <span style="float:right">T</span>
[PM-12] まちづくりにおけるプログラムマネジメントの実践 ~竹中工務店のまちづくり戦略の取組み~ 竹中工務店 岡 晴信 <span style="float:right">S</span>	[BS-12] DevOpsを推進するアジャイル開発品質保証フレームワーク実践事例 SHIFT 船橋 篤史 <span style="float:right">CfP T</span>	[SS-12] 激甚化する災害に企業はどう備えるか? ~デジタル技術による平常時からのデータ活用~ 富士通 吉田 千穂 <span style="float:right">S</span>	[IN-12] IPAによる企業のDX推進支援事業の状況 情報処理推進機構 (IPA) 鎌田 高輝 <span style="float:right">S</span>
[PM-13] プロジェクトを創り、成功に導く人材育成を目指して ~夢工学から見た次世代への伝承法~ アイ・ティ・イノベーション 奥田 智洋 <span style="float:right">CfP L</span>	[HR-11] 富士通におけるキャリアオーナーシップ 富士通 末松 佳子 <span style="float:right">L</span>	[SS-13] データを価値に変える社会インフラ保守事業の創生 日立製作所 竹島 昌弘 <span style="float:right">S</span>	[IN-13] 北米の事例からDXを考察する BIPROGY USA, 皆川 和花 <span style="float:right">T</span>
[PS-11] 受発注者が協調したアジャイル開発でDX推進 ~アジャイル開発版モデル契約の概説~ 情報処理推進機構 (IPA) 社会基盤センター 山下 博之 <span style="float:right">T</span>	[HR-12] 組織の成長の鍵は、メンバーが幸せに働けること ~組織におけるCHOの役割とは~ 環 椎野 磨美 <span style="float:right">L</span>	[SS-14] こういう何でもない時間が一番大切だから ~信頼に基づく自発的な行動が生まれる組織づくり~ チャリティセンター 徳光 みく / 今枝 沙織 <span style="float:right">CfP L</span>	
ヒューマンスキル	人財育成・働き方改革	社会課題解決	イノベーション
[HS-11] 勝つことより負けない自分を育てるための習慣 ~自分らしく生きるための心構えとプロセス~ 日本アイ・ピー・エム 戸倉 彩 <span style="float:right">L</span>	[HR-13] やる気を引き出し、強いチームを作るコーチング ~「グループコーチング」と「アジャイルコーチング」でケイビリティを高めよう!~ Agility Design 中野 安美 <span style="float:right">L</span>	[SH-11] 多種目スポーツリーグをするワケ ~スポーツ×ローカルファースト×ダイバーシティ~ DOLEAGUE 出合 祐太 <span style="float:right">L</span>	

Day1 Day2  
共通

## Day1/Day2共通 9/17~10/15オンデマンド配信

[AJ-1] PMRが語る プログラムマネジメントの勘所 ~プログラムマネジメントを自在に活用しよう!~ PMAJ Advanced PMR Club 枝窪 肇 / 林 健太郎 <span style="float:right">S</span>	[AJ-2] 中小規模製造業のプログラムマネジメント ~プログラムは「サービスマネジメント」で価値創造を行う!から考える~ PMAJ Advanced PMR Club 藤澤 正則 <span style="float:right">S</span>	[AJ-3] Society5.0時代のプロジェクトマネジメント ~全産業で進むデジタル化におけるPMの役割~ PMAJ PM研究・研修部会 大泉 洋一 <span style="float:right">T</span>	[AJ-4] PMBOK®ガイド 第7版概要解説 ~大規模改正の意図と第6版との違いとは~ PMAJ PM研究・研修部会 大槻 直彦 <span style="float:right">T</span>
[EX-1] AXELOSのPPMの概要と特徴 ~成果物の提供から組織の戦略目標達成まで一貫したガイダンスを提供~ PeopleCert 木下 雅治 / 羽佐間 一潮 <span style="float:right">T</span>	[EX-2] AIを活用した画期的なモダライゼーション! ~システムリフォームで、日本のシステム構築を改善する~ ソフトロード 新妻 秀樹 <span style="float:right">T</span>	[EX-3] EVMの要点解説! % Completeの評価方法! ~進捗率(% Complete)算出方法のバリエーション~ TIS千代田システムズ 金子 健一 <span style="float:right">T</span>	[EX-4] スマート・コンストラクション・プラットフォーム ~建設プロジェクトのDX実現に向けて~ 日本オラクル 東根 正興 <span style="float:right">T</span>

# PROJECT MANAGEMENT SYMPOSIUM JAPAN 2022

9/16  
FRI  
Day  
2

## Live 9/16ライブ配信 / 9/19~10/15オンデマンド配信

10:00~11:00	<b>基調講演</b> <b>[KN-2]DXの思考法</b> 東京大学未来ビジョン研究センター 西山 圭太 <span style="float:right">S</span>
11:20~12:20	<b>特別講演</b> <b>[SP-21]IOWN/6G時代のデジタル社会に向けた富士通の取組み</b> 富士通 宮田 修次 <span style="float:right">T</span>
13:20~14:20	<b>特別講演</b> <b>[SP-22]ものづくりの進化で示す日本の強さで未来の暮らしをビジョンする                  ~SDGs未来都市の地域創生と研究開発~</b> 石巻専修大学 梅山 光広 <span style="float:right">S</span>
14:40~15:40	<b>特別講演</b> <b>[SP-23]複数大学連携PBLでのチームティーチングによるイノベーション人材の                  育成教育</b> 公立ほこだて未来大学 大場 みち子 <span style="float:right">L</span>
16:00~17:00	<b>特別講演</b> <b>[SP-24]発酵は楽しい! 私の酒造り                  ~小さな酒蔵で挑む女性社氏の大きなチャレンジ 身体にやさしい日本酒を~</b> 向井酒造 向井 久仁子 <span style="float:right">S</span>

## 9/18~10/15オンデマンド配信

プロジェクトマネジメント実践	戦略及びビジネスマネジメント	社会課題解決	イノベーション
<b>[PM-21]</b> 世界で求められるPMスキル/スケジュール/データマネジメント ~グローバルプロジェクトにおけるリスクヘッジ手法日本がグローバル社会で生き残るには~ ターナー&タウンゼント 小林 潤 <span style="float:right">T</span>	<b>[BS-21]</b> DX推進に効く!ローコード開発環境の戦 略的適用 ~現場のイノベーションを支える活用事例~ 富士通エフサス 皆川 あゆみ <span style="float:right">T</span>	<b>[SS-21]</b> 気候中立に貢献する開発プロジェクトの 社会実装 ~千代田スケールアップエンジニアリング~ 千代田化工建設 細野 恭生 <span style="float:right">S</span>	<b>[IN-21]</b> 革新的発想法による新事業創出 ~デック思 考で新たな製品・サービスを産み出す実践アプローチ~ 経営コンサルタント/東工業 川勝 良昭 <span style="float:right">S</span>
<b>[PM-22]</b> プロジェクトをダメにするリーダーの 考え方 ~本当のプロジェクトマネジメントとは~ アタックス・セールス・アソシエイツ 横山 信弘 <span style="float:right">L</span>	<b>[BS-22]</b> パーパス経営の視点からみた イノベーションマネジメント 千葉工業大学 新谷 幸弘 <span style="float:right">C-P S</span>	<b>[SS-22]</b> デジタルの架け橋が地域の未来を 拓く! ~地域移住型DX変革プログラムの挑戦~ 富士通Japan 武野 竜也/志知 貴文/山口 倫照/福地 達貴 <span style="float:right">S</span>	<b>[IN-22]</b> 社会貢献活動をもっと身近に ~生活者 の豊かな日常と明るい未来を創るプラットフォーム~ BIPROGY 児玉 信人 <span style="float:right">S</span>
<b>[PS-21]</b> 気候変動と自己肯定感 環境活動家 谷口 たかひさ <span style="float:right">L</span>	<b>[HR-21]</b> サステナブルキャリア構築と地方創生の 可能性 ~人生100年時代"最初の一步"の作り方~ Dialogue for Everyone 大桃 綾子 <span style="float:right">L</span>	<b>[SS-23]</b> SDGs事業 アジャイル的立ち上げ実践の報告 ~PMI日本支部流SDGsスタートアップ方法論概説~ PMI日本支部 稲葉 涼太/西原 真仁 <span style="float:right">S</span>	<b>[IN-23]</b> 空間認識プラットフォーム BRaVS による社会課題解決 BIPROGY 武井 宏将 <span style="float:right">T</span>
<b>[HS-21]</b> SNSを超える第四の居場所 ~これ から必要とされるコミュニティのカタチカ~ ゆめのたね放送局 岡田 尚起 <span style="float:right">L</span>	<b>[HR-22]</b> ピンチをチャンスにする組織成長 ~ダイバーシティ経営・健康経営は中小企業こそ!~ 大橋運輸 鍋嶋 洋行/太 美善/部坂 菜津子 <span style="float:right">S</span>	<b>[SH-21]</b> 人のキャリアをどう考える ~キャリアコンサルタントの視点から~ BIPROGY 三宅 ひろみ <span style="float:right">L</span>	
<b>[HS-22]</b> 事業シフトに求められる人材の変革 ~新 事業創出に向け、試行錯誤で進めた人材・組織改革~ パナソニックソリューションテクノロジー 相澤 淳 <span style="float:right">S</span>	<b>[HR-23]</b> ハートグラムを活用したプロジェクト適性 の見極め方 ~DX時代を切り開くPM人材になるために~ 決断力 高島 徹 <span style="float:right">C-P L</span>	<b>[SH-22]</b> ひとりぼっちのいない地域・社会を創る ~小さ な町の地域コミュニティ[みんなのいえカラフル]の実践~ TetoCompany 奥 結香 <span style="float:right">L</span>	

<b>[AJ-5]</b> ユーザー企業のためのプロ ジェクトマネジメントフレームワーク ~PRINCE2の実践~ PMAJ PM研究・研修部会 尾形 順一/田中 繁光 <span style="float:right">T</span>	<b>[AJ-6]</b> 変化の激しい時代 に求められる組織の変革 アジリティ PMAJ チェンジマネジメントSIG 香川 隆 <span style="float:right">L</span>	<b>[AJ-7]</b> DX成功に組織アジリ ティは欠かせない! ~DX推進のため のアジャイル実践アプローチ~ PMAJ 組織アジリティSIG 小原 由紀夫/今野谷 史 <span style="float:right">L</span>	<b>[AJ-8]</b> 「できること」から「や るべきこと」へ ~ロードマッピ ングの活用とその成功要因~ PMAJ ロードマッピングSIG 佐藤 花也/荒平 雅太/島田 恵子/風間 正行 <span style="float:right">S</span>	<b>[AJ-9]</b> 「たった1人からはじめる イノベーション実践」~イノベーシ ョン入門から実践への知恵~ PMAJ PMマイスタ 竹林 一 <span style="float:right">S</span>	<b>[AJ-10]</b> プログラムマネジメントの大学 教育への活用について ~P2Mのプログラ ムマネジメントを大学教育で適用した事例の紹介~ PMAJ PMマイスタ 濱 久人 <span style="float:right">L</span>
<b>[EX-5]</b> 不確実性・複雑性を管理 する3つのポイント ~不確実性に支 配される前に管理する~ Hexagon 松橋 健一 <span style="float:right">T</span>	<b>[EX-6]</b> メンバーが納得して動いて くれるプロジェクトマネジャーとは? ~ パーパス経営から考えてみる~ パナソニックソリューションテクノロジー 佐藤 昌夫 <span style="float:right">L</span>	<b>[EX-7]</b> DXに必要なア ジャイルとプロジェクトデ ザイン グローバルプロジェクトデザイン・ジャパン 池 大 <span style="float:right">T</span>	<b>[EX-8]</b> ひとつのチョンボから次の チョンボへ ~プロジェクトマネジャーの 品格-目標、偶然、レジリエンス~ ブラネット 中嶋 秀隆 <span style="float:right">L</span>		

## 主催者講演 SP-11 第5次産業革命前夜

11:20~12:20 ~明るい未来を創るプログラムマネジメント~

日本プロジェクトマネジメント協会 理事長

加藤 亨 S

産業革命の歴史は、第一次産業革命は蒸気機関の発明(1769年)が発端となり、次いで第二次産業革命は重化学工業の発達(1880年代)がきっかけとして約110年後。第三次産業革命はマイクロプロセッサの出現(1971年)からとして約90年後。そして第四次産業革命がドイツの国家戦略(2012年)からだとすると約40年後となります。それから10年を経過し、さらにパンデミックにより変化が劇的に加速した現代は、すでに第五次産業革命の前夜にあたるのかもしれない。

産業革命は、農業から工業、重工業、情報産業、そしてデジタル産業へと、ビジネスのサービス化を加速してきました。では第五次産業革命が創る世界はどんな世界になるのでしょうか。地球温暖化が不可逆的に進んでしまう転換点であるティッピングポイントまで残された時間の無い我々は、その未来を明るいものとするためビジョンを設定し、ロードマップを明確にし、計画的に創造する責任があります。本講演では、明るい未来を創造するために、プログラムマネジメントがどのような役割を果たせるのか、一緒に考えていきたいと思います。



## 【講師略歴】

1978年 千代田化工建設(株)入社後、同社の様々な情報化プロジェクトを担当後、同社の情報子会社の執行役員、取締役本部長等を歴任。2016年7月より千代田ユーテック株式会社 代表取締役社長に就任。2019年7月より日本プロジェクトマネジメント協会理事長に就任し現在に至る。PMAJ公認PMS、米国PMI公認PMPなど。

## 特別講演 SP-12 水害の歴史と地域知から探る災害対策・対応

13:20~14:20 ~世界遺産・熊野本宮大社を取り巻く地域社会~

京都大学地球環境学 准教授

落合 知帆 S

明治22(1889)年8月に熊野川流域で起きた大規模水害では、奈良県十津川村、和歌山県田辺市本宮町や新宮市などで甚大な被害をもたらした。熊野古道で知られる熊野本宮大社はかつて熊野川の中州に位置していたことから、壊滅的な被害を受け、高台に移設再建されてから今年で130年を迎える。この熊野本宮大社の移築再建は約2年という短期間で成し遂げられたが、その事業は国、県、熊野本宮大社、氏子や住民達の調整や協力、作業分担などによって成

し遂げられていた。一方、地域住民は自らの地域や家族を水害から守るため、アガリヤという避難小屋を高台や高上げ地に建築するなど災害に備える仕組みを構築し、水害とともに生きる対策を行ってきた。本講演では、熊野本宮大社の移築再建の経緯や体制に加え、地域住民が主体的に行ってきた防災対策を歴史および伝統知・地域知の視点から紹介し、人々はどうのように災害に備え、対峙してきたのかを考察する。



## 【講師略歴】

カリフォルニア大学デービス校を卒業後、開発コンサルタントにて海外のプロジェクトに従事。2011年から京都大学大学院地球環境学に所属し、社会学をベースにした地域防災、災害復興、コミュニティ再構築や災害・防災における伝統知・地域知に関する研究に従事している。フィールドは、日本、東南アジア、アメリカなど。

## 特別講演 SP-13 システム思考とレジリエンスで捉えるセーフティ&amp;セキュリティ

14:40~15:40 ~先端セーフティ理論に学ぶデジタル社会のITリスクマネジメント~

株式会社NTTデータ 技術革新統括本部 エクゼクティブ R&amp;Dスペシャリスト/国立情報学研究所 金子 朋子 T

AI、IoTの普及に伴い、セーフティとセキュリティが確保されたシステムの構築は急務となっている。セーフティとは「生命・健康・財産に影響を及ぼす偶発的なミス、故障などの悪意のない危険に対する安全」のことである。一方、「ITシステムにおいてインターネットなどを通じて、悪意をもって行われる脅威に対しての安全」を確保することをさすセキュリティには「安心」の意味もありセーフティとセキュリティが確保されて初めて安全安心なデジタル社会を構築できるのである。

本講演では近年注目されている「システム思考の安全工学(STAMP)」と「レジリエンス・エンジニアリング」の2大先端セーフティ理論を解説する。これらの理論を応用し、特にセキュリティ・リスクとセーフティ・リスクに焦点を当てて、双方のITリスクマネジメントが必要なケース、リスク制御の方策や事例を示す。航空機のオートパイロットやサイバーセキュリティ・インシデント、自動運転などのAIリスクの最新研究動向を解説する。



## 【講師略歴】

2014年 情報セキュリティ大学院大学にて博士号(情報学)取得。1988年-現在 (株)NTTデータ エクゼクティブR&Dスペシャリスト。2016-2019年 (独)情報処理推進機構 研究員。2021-2022年 国立情報学研究所 特任准教授。現在、公認情報セキュリティ監査人、日科技連分科会主査、東京電機大学研究員、電子情報通信学会専門委員、ITリスク学研究会幹事、機械学習工学研究会WG幹事等を務める。

## 特別講演 SP-14 空の移動革命への挑戦

16:00~17:00 ~日本発 空飛ぶクルマと物流ドローンの開発~

株式会社SkyDrive 広報責任者 兼 CEO室長

宮内 純枝 T

株式会社SkyDriveは、「100年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018年7月に設立、「空飛ぶクルマ」及び「物流ドローン」を開発。「空飛ぶクルマ」の開発においては、国内で唯一、有人飛行試験を実現し、官民協議会の構成員として制度設計にも関与している。30kgの荷物を運搬可能な「物流ドローン」は、山間部を中心とした作業現場で活用されている。「空飛ぶクルマ」は、現在2人乗りの機体を開

発中、2025年に大阪ベイエリアでのサービス開始を目指している。本講演では、前身である有志団体から参加しているメンバーとして、創業から今に至るまでの多様な課題をどのように乗り越え、2025年のサービス開始に向けてこれからのように取り組んでいくのかをプロジェクトマネジメント視点で語る。加えて、空飛ぶクルマが作る未来社会への思いを伝える。



## 【講師略歴】

リクルートに新卒入社。編集、ブランディング、ネットマーケティング、提携、R&D等を担当。2014年にマーケティング部門のマネージャーに着任。カンヌライオンズ、グッドデザイン賞など受賞多数。グロービス経営大学院にてMBA取得。株式会社SkyDrive創業メンバー、2019年-2021年9月、取締役。2021年10月より現職。

プロジェクトマネジメント実践

PM-11

プロジェクトマネジメントとエンターテイメントの秘密

～プロジェクトマネジメントをイノベーションするコンテンツと影響力の科学～



河路 裕司 CFP L

株式会社トヨタシステムズ ファイナンスIT本部 ファイナンス企画部

若いPMからこんな声をよく聞く。「決定権がある人に十分な知識やスキルがあるようには思えない。なのにエライ人の意見ばかり通るのは理不尽だ」。  
根本的な問題はエライ人が専門家の意見を理解して、正しい判断に繋がられないことにある。本講演ではこうしたことを改善するための科学的な方法を提案する。とても重要なメッセージを持つ人が、必ずしも絶大な影響力をもつわけではないように私

は感じる。客観的なデータや事実だけでは人の考えを変えることは困難だということが分かってきている。だとしたら、他人の考えに影響を与えるにはどうすれば良いか？エンターテイメントの科学に解決の大きなヒントがある。

【講師略歴】メガバンクの基幹システムのシステムエンジニアとして10年以上従事、2003年にトヨタシステムズ入社、大型プロジェクトのPMを歴任。その後、組織PMOとして組織内のプロジェクトを横断的に指導。近年はアジャイルコーチや社内のアジャイル推進役としても活動。

プロジェクトマネジメント実践

PM-12

まちづくりにおけるプログラムマネジメントの実践

～竹中工務店のまちづくり戦略の取組み～



岡 晴信 S

株式会社竹中工務店 まちづくり戦略室

竹中工務店は2017年より「まちづくり総合エンジニアリング企業」を目指しております。その一環としてまちづくり戦略室が2017年に発足しました。以降、国内の複数地域での社会課題解決を通じたまちづくりを実践しており、そのベースとなっているのはプログラムマネジメントとプロジェクトマネジメントの両方での知見を活用していま

す。本講演では、P2Mの知見をどのようにまちづくりの実践に活かしているかと実例を通じて説明します。

【講師略歴】建設会社に入社し、経理・総務・海外経理を担当し退職。理系大学で建築学を学び、卒業後はアトリエ設計事務所にて住宅設計を担当。2005年竹中工務店に入社。大手企業のグローバル本社の構築をはじめ、数多くの企業のオフィスづくりのコンサルティングに従事。2016年、経営企画室へ異動、2017年にまちづくり戦略室を立ち上げる。2019年に島根県雲南市と地域連携協定を担当し、企業と自治体の新しい共創できる仕組みづくりに従事。

プロジェクトマネジメント実践

PM-13

プロジェクトを創り、成功に導く人材育成を目指して

～夢工学から見た次世代への伝承法～



奥田 智洋 CFP L

株式会社アイ・ティ・イノベーション プロジェクトマネジメント・エバンジェリスト

プロジェクトはやったことのないことを期限までにやりきらなければならない、難しいと感じる人も少なくない。特に若手の時代にはマネジメントの技術、技能が備わっていないことが多く、プロジェクトの失敗に恐れをなしているケースも多々ある。本講演では、プロジェクトマネジメントに関わり始めた次世代のプロジェクトマネージャー候補に対して、プロジェクトマネジメントの技術、技能をどのように伝えていくのかを考えて

いくとともに、そのプロジェクトマネージャーがプロジェクトの成功を自分の夢として捉え、やり抜く力を発揮するための土台作りについて夢工学のメソッドと照らし合わせながらお伝えする。

【講師略歴】富士通のSEとして国内自動車メーカーの基幹システムの開発に従事。QCDの要求が高いプロジェクトでのマネジメント経験をもとに、コンサルタントとしてプロジェクト現場支援をする傍ら、プロジェクトマネジメント・エバンジェリストとして、PM初心者向け書籍の執筆や社外セミナーなどの伝承活動も推進中。

プロジェクトマネジメント実践

PS-11

受発注者が協調したアジャイル開発でDX推進

～アジャイル開発版モデル契約の概説～



山下 博之 T

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 社会基盤センター 専門委員

デジタルトランスフォーメーション(DX)推進の核となる情報システムの開発では仮説検証型のアジャイル開発が有効となる。IPAは、ユーザ企業・ベンダ企業双方がその特徴を理解した上で価値の高いプロダクトの開発を目指して緊密に協働しながら適切に開発を進めることができるよう、アジャイル開発を外部委託する際の「情報システム・モデル取引・契約書」(“モデル契約”)を公開している。本講演では、モデル契約

の構成と特徴等を、その想定するアジャイル開発の進め方と共に説明する。また、アジャイル開発において偽装請負を指摘されるリスクに関して厚労省が公表したQ&A集について簡単に説明する。

【講師略歴】1981年京都大学大学院修士課程(情報工学)修了。同年、日本電信電話公社(現NTT)入社。以後、研究所において情報通信処理関連の研究開発・標準化活動に従事。2003年10月に(株)NTTデータに転籍。2004年～2008年、JSTに転出。2009年4月～2022年3月、(株)NTTデータからIPAに転出後退職。情報処理学会、IEEE各会員。

PMシンポジウム豆知識

今年はPMシンポジウム25回記念大会なんだ。  
2004年からその年のテーマを決めて開催しているんだよ、過去のテーマをご紹介しよう！

- 2004 競争力強化のためのプロジェクトマネジメント ～イノベーションと継続的発展～
- 2005 変革と進化のためのプロジェクトマネジメント ～強い個と強い組織～
- 2006 明日を創るプロジェクトマネジメント ～次世代への進化とチャレンジ～
- 2007 新たな創造と成長のためのプロジェクトマネジメント ～PM力を鍛えるか～
- 2008 プロジェクトマネジメントが拓く明日への変革 ～総合力と人間力を磨く～
- 2009 時代に究つ ～知識から知恵へのプロジェクトマネジメント～
- 2010 変化への挑戦 ～プロジェクトの先を見据えよ～
- 2011 発想そして実行 ～協創のプロジェクトマネジメント～
- 2012 創ろう！新たな未来
- 2013 新たな価値創造、そして成長

- 2014 想像が明日を拓く ～進化するPM～
- 2015 明るい未来を創るプロジェクトマネジメント
- 2016 変化に適応し、変化を創り出す
- 2017 次世代への共創 ～イノベーションを支えるプロジェクトマネジメント～
- 2018 デジタル変革に挑む
- 2019 競争優位のビジネス創出 ～未来社会に向けて今何をすべきか～
- 2020 ビジネスのデジタル化 ～持続可能な社会を支えるプロジェクトマネジメント～
- 2021 企業を変える、社会を変える、生き方を変える  
～DX時代を牽引するプロジェクトマネジメント～
- 2022 明るい未来を創る ～イノベーション、SDGsを支えるプログラム＆プロジェクトマネジメント～



## ヒューマンスキル

### HS-11 勝つことより負けない自分を育てるための習慣

～自分らしく生きるための心構えとプロセス～

日本アイ・ピー・エム株式会社 テクノロジー事業本部 カスタマーサクセス部長

戸倉 彩 



VUCA時代において、日々私たちを取り巻く環境はおびただしく変化し、これまでの延長戦で発想したり、行動をしていくには変化に適用できないことも増えてきた。守るべきものと変えるべきものをどう共存させていくべきか、次に起こることへの備えはできているか、キャリア継続のために求められる思考や習慣とは何か。自分に問い続けることで、自分が大切にしていることや、今後の人生のビジョンを考えるための大き

な助けになることが期待できる。本セッションを通じて、仕事やキャリアの選択のヒントに繋げ、なりたい自分をプロデュースできるようになることを目指す。

**【講師略歴】**約20年にわたりIT業界でエバンジェリスト、アーキテクト、プロダクトマーケティング等の豊富な経験を活かし、現在、日本IBMカスタマーサクセス部長として国内のビジネス発展を目指す。テック系コミュニティ運営を通じてエンジニアに寄り添った技術支援やOSSへの貢献、女性エンジニア育成にも力を注ぐ。

## 戦略及びビジネスマネジメント

### BS-11 システムを作らせる技術

～システム導入に失敗しないために発注者がなすべきこと～

ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社 バイスプレジデント

白川 克 



DXでも肝となるシステム導入。しかしシステム導入の遅延、中止、それに伴うIT訴訟の例も世の中にはたくさん存在します。システム導入に失敗しないためのコツは多々ありますが、最も「効く」のは、ベンダーにシステム導入を丸投げしないことです。それには発注者が「なすべきことをきちんとやりきる」必要があるのです。

本講演では、システム導入を成功させるための「技術」をわかりやすくお伝えいたします。

**【講師略歴】**プログラマーとしてキャリアをスタート。ケンブリッジに転職後、業務改革、システム構築、ビジョン策定などのプロジェクトを数多く経験。ファシリテーションを武器に、コンセプト立案や、人材育成を得意としている。現在は「お客様とのプロジェクト」「執筆や方法論構築」「COOとして自社の経営」の三足のわらじを履く。

## 戦略及びビジネスマネジメント

### BS-12 DevOpsを推進するアジャイル開発品質保証フレームワーク実践事例

株式会社SHIFT DevOps推進部 DevOps推進3グループ グループ長

船橋 篤史 



アジャイル開発という言葉が世の中に出て20年あまり、昨今の変化の激しい世の中に追いつくため、多数の日本企業もアジャイル開発に挑戦している。しかし、品質を犠牲にスピードを上げたり、スピードを意識しすぎて顧客が望むものを見誤ったりするプロジェクトが多く存在する中で、アジャイル開発の定着に成功している企業は少ない。そのような過去の事例から、アジャイル開発向けの品質保証フレームワークを

独自に構築。本セッションでは、このフレームワークを利用することで品質を意識したDevOps、アジャイル開発を実現させた成功プロジェクトの事例とその要因をご紹介します。

**【講師略歴】**10年以上にわたりソフトウェア開発プロジェクトに参画したのち、スクラムマスター、アジャイルコーチとして新規アジャイルチーム立ち上げを支援。またSREとしてDevOps体制の構築やサービス提供、自動テスト拡充の支援にも従事。

## 人財育成・働き方改革

### HR-11 富士通におけるキャリアオーナーシップ

富士通株式会社 EmployeeSuccess本部 Engagement&Growth統括部 人材採用センター シニアマネージャー

末松 佳子 



人生100年時代とも言われキャリアは長期化する一方で、ビジネスの環境変化は激しさを増し、現在と全く同じ仕事を10、20年先も続けられる可能性は低くなっている。その中で会社は社員一人ひとりのキャリアをどのようにサポートしていけばよいのか。富士通は2020年度より、会社が社員のキャリアを決めるのではなく、社員一人ひとりがキャリアを描き、実現していくことを会社が最大限支援する方向に舵を切った。掘

みたいジョブに自ら挑戦できる制度や豊富な学びの機会等、成長を後押しする仕組みを拡充。本講演では富士通におけるキャリアオーナーシップの考え方、仕組み、活用の実態について紹介する。

**【講師略歴】**2006年富士通株式会社に入社し、金融部門の人事業務全般を担当。その後、日本・海外の混成組織である国際人事にて、グローバル人事制度企画・導入を経験。2019年より人材開発部門にて社員の自律な学び促進担当を経て、現在は主に採用を担当。

## 人財育成・働き方改革

### HR-12 組織の成長の鍵は、メンバーが幸せに働けること

～組織におけるCHOの役割とは～

株式会社 環 執行役員 (CHO: Chief Happiness Officer)

椎野 磨美 



組織におけるプロジェクトやチームのパフォーマンスは、メンバーのハピネス(幸福)度で左右される。この法則は、さまざまな成長・成功企業によって実証され、多くの企業の間で共通認識となりつつある。加えて、コロナ禍の影響により、ビジネスパーソンのストレスや不安が膨らみがちになる中、チームのハピネス、あるいは「ウェルビーイング(well-being: 身体的、精神的、社会的に良好な状態)」を保つことの重要性が

以前にも増して高まっている。CHO(Chief Happiness Officer)として、メンバーが幸せに働ける環境を整え、どのように組織を成長させているのか、事例とともにお伝えする。

**【講師略歴】**新卒でNEC入社後、人材育成・研修業務に従事。日本マイクロソフトでシニアソリューションスペシャリストとして従事した後、JBSにて社員が働きやすい環境作り、研修業務を推進。2017年働き方改革成功企業ランキング、初登場22位の原動力となる。2020年5月より株式会社 環のCHO(チーフハピネスオフィサー)として、ITを活用した自社、他社の社員の幸せになる働き方改善業務に従事。ITビジネスコミュニケーション協会理事。

人財育成・働き方改革

HR-13

やる気を引き出し、強いチームを作るコーチング

～「グループコーチング」と「アジャイルコーチング」でケイパビリティを高めよう！～



中野 安美 **L**

Agility Design株式会社 代表取締役

みなさんの会社では社員のみならずがやりがいを持ち、ワクワク楽しみながら働くことが出来ているでしょうか？

人は目指す目標を持ち、興味関心がある事に対して大きなパワーを発揮します。そして、意欲に満ちたメンバーが集まって信頼しあい、多様性を活かしつつ支え合うことで、パフォーマンスの高いチームを作ることができます。当セッションでは、やる気を引き

出しセルフマネジメント力を高める「グループコーチング」と、チーム力を高める「アジャイルコーチング」の2つのコーチングについてご紹介します。

**【講師略歴】**生保IT子会社にて生命保険分野のシステム開発に従事後、社内でアジャイル開発、新規事業サービスデザインを推進。アジャイルを通じて競争力のあるビジネス創出と働き方の改革を推し進めたい思いから2019年9月AgilityDesign(株)を設立。組織へのアジャイル導入やグループコーチングによるセルフマネジメント強化支援を行う。アジャイル経営カンファレンス実行委員長、AgileJapan2020実行委員長。

社会課題解決

SS-11

職場重視モデルから考える女性活躍推進を成功させるマネジメント



大槻 奈巳 **L**

聖心女子大学 現代教養学部 教授

政府は、2003年に「2020年までに指導的地位の女性割合を30%にする」目標を設定し、2015年には「女性活躍推進法」が成立した。しかし、この目標は達成できず、ジェンダーギャップ指数2021では、日本は153か国中120位と下位である。女性が仕事で活躍できない状況を、いままで主に家族重視モデル(女性は家事育児があるので仕事で活躍できない)から考えられてきたが、職場重視モデル(職場のあり方に女性

が仕事で活躍できない要因がある)からもっと考える必要がある。本報告では、若年層の管理職志向を仕事の割当てや職場の期待等の影響から検証し、企業における女性活躍推進のマネジメントを考える。

**【講師略歴】**2001年上智大学大学院博士後期課程修了、博士(社会学)。(独)国立女性教育会館研究員を経て、2005年に聖心女子大学の助教授、2013年より現職。著書は『職務格差—女性の活躍推進を阻む要因はなにか』(2015年、勤草書房)、『なぜ女性管理職は少ないか』(大沢真知子らと共著、2019年、青弓社)など。

社会課題解決

SS-12

激甚化する災害に企業はどう備えるか？

～デジタル技術による平常時からのデータ活用～



吉田 千穂 **S**

富士通株式会社 防災ビジネス事業部 シニアマネージャー

近年、自然災害が激甚化する中で、多くの企業や組織が災害対策においてさまざまな課題に直面している。

特に自社・組織における災害発生時の被害状況の把握だけでなくサプライヤーなど関係各所との迅速な情報共有が大きな課題となっている。こうした課題に対し、ポイントとなるのはデジタル技術の活用である。

今回は、デジタル変革時代の災害対策にどう取り組むべきか、あえて災害を意識しないフェーズフリーの考え方を交えてそのヒントを探っていく。

**【講師略歴】**富士通株式会社にて防災システムの企画・拡販に従事し、自治体向け総合防災情報システム、災害情報共有システムなどの担当を歴任。国立研究開発法人防災科学技術研究所主催「データ利活用協議会」IoT技術活用分科会メンバー。

社会課題解決

SS-13

データを価値に変える社会インフラ保守事業の創生



竹島 昌弘 **S**

株式会社日立製作所 公共システム事業部 公共基盤ソリューション本部 担当本部長

高度経済成長期に整備された社会インフラが老朽化する一方で、これらを保守、点検してきた熟練作業者の高齢化が大きな社会課題となってきた。暗黙知を形式知化するという観点で、老朽化した水道管の漏水を検知するセンサーや地下埋設インフラを可視化する事業の創生に取り組んだ。現場課題の発見からそれを解決するための技術開発、製品化、そしてサービス事業の創生に至るまでの経緯を紹介する。特に

現地実証等で発生した課題をどのように解決してきたか。様々なプロジェクトにおいても共通的に活用可能と思われる観点を整理しながら紹介する。

**【講師略歴】**入社以来、分野を問わず、ほぼ一貫して新規事業の創生を担当。生鮮流通分野や大規模都市開発での統合情報システム構築などに従事。グローバル担当として東南アジアでの大規模開発事業などを担当した後、東日本大震災被災後は被災地の復興業務にも携わった。2016年頃より社会インフラ保守分野での新事業創生を推進している。

社会課題解決

SS-14

こういう何でもない時間が一番大切だから

～信頼に基づく自発的な行動が生まれる組織づくり～



CyP **L**

NPO法人チャリティーサンタ 相模支部 徳光 みく / さいたま支部 今枝 沙織

本講演は「チームリーダーとしてメンバーのエンゲージメント向上を目指している人」に向けたセッションです。今回の事例は市民活動ですが、その特徴として、メンバー間で上下関係がなく、指示系統が曖昧であることが上げられます。このような組織を回すためには、メンバーのエンゲージメント向上がキーだと考えています。これは市民活動に関わらず、業務内でメンバーが指示に従うだけではなく、信頼関係に基づく行動

ができる組織づくりにも繋がるでしょう。講演内では、私たちが実践している、オンライン上でのチームビルディングの方法やその意図についてお話しします。

**【講師略歴】**徳光 みく：市民活動が生きがいの社会派ライン工。1990年生まれ。2017年NPO法人チャリティーサンタにてさいたま支部を設立。2019年に活動休止中の相模支部を再生。実務の傍ら、組織構築の手法の開発・導入を実施。/今枝 沙織：2014年にNGOでの活動を開始する。学生団体にてカンボジアの初等教育の支援に関わったのち、チャリティーサンタさいたま支部に参画し現在に至る。本職はコンサルティング会社に従事。

## その他人文学分野

### SH-11 多種目スポーツリーグをするワケ

～スポーツ×ローカルファースト×ダイバーシティ～



出合 祐太 L

一般社団法人DOLEAGUE 代表理事

青年海外協力隊として西アフリカのブルキナファソに野球隊員として普及活動を行った。2020年より北海道初の国籍を問わず人材育成と北海道地域の活性化に特化した野球独立リーグを設立。それが派生し、スポーツ×ローカルファースト×ダイバーシティをキーワードに2022年より複数のスポーツリーグを運営する(一社)DOLEAGUEを

設立。日本初の多種目スポーツリーグを展開。スポーツをする目的、考え方、向き合い方、新たな価値を創出する。

**【講師略歴】**一般社団法人北海道ベースボールリーグ 発起人(事務局長)。フラノプレ株式会社 代表取締役。ブルキナファソナショナルチーム 監督(2019年)。パン工房ブーランジェリー ラフィ オーナーシェフ(現任)。帰国後富良野市内にてパン職人として独立開業。2020年～北海道初の独立リーグ「北海道ベースボールリーグ」を設立。

## イノベーション

### IN-11 ビジネス創出におけるSTEMの役割と重要性



井上 栄 T

FCNT株式会社 プリンシパルアーキテクト

STEM教育という取組が広がりつつあるが、情報通信社会の基盤を支えるSTEMについて紹介する。「科学、特に、数学は役に立つ学問なのか?」「科学/数学、テクノロジー、エンジニアリングの違いは?」の疑問に回答する。同時に、社会基盤となっている「位置測位システム」「RSA暗号システム」の二つを事例とし、STEMが果たす役割を説明する。位置測位システムでは、相対性理論、距離計算の理論・定理を説明するとともに、社

会実装・実用化について言及する。RSA暗号システムでは、暗号の歴史、RSA暗号で利用する定理を説明し、社会実装する上でのポイントを説明する。説明は、数式、定理の証明を解説するのではなく、それらを利用してどのように実現しているかを解説する。

**【講師略歴】**1985年より株式会社東芝にて分散処理コンピュータ、及び携帯電話等のシステム開発に従事。2010年より富士通株式会社、2016年よりFCNT株式会社にてAndroidスマートフォンの開発に従事。一貫して製品開発に携わる。JSSEC 副会長・理事、MCPCセキュリティ委員会 委員長、NEDO ユーザアドバイザー委員会 委員、サプライチェーン・サイバーセキュリティ・コンソーシアム 委員。

## イノベーション

### IN-12 IPAによる企業のDX推進支援事業の状況



鎌田 高輝 S

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) DX推進部

2018年経済産業省から公開された「DXレポート」をきっかけにしてIPAでは、国内企業のDX推進を行う施策(DX推進指標、DX認定、DX銘柄など)を行ってきた。本講演では、これらの活動の外観を述べるとともに、国内企業のDX推進状況や先進企業の取組などについて解説する。

**【講師略歴】**1994年大阪大学人間科学部卒業。同年、セントラルシステムズ(現TIS株式会社)入社。主に、金融系のシステム開発に従事。2020年から(独)情報処理推進機構に出向し、DX推進に関わる手引書の策定を担当。

## イノベーション

### IN-13 北米の事例からDXを考察する



皆川 和花 T

BIPROGY USA, Inc. 代表取締役社長

BIPROGY USAは、BIPROGYグループ(旧:日本ユニシスグループ)の北米リサーチ拠点です。主に北米のビジネス・技術の最新動向の調査を行い、お客様へのトレンド情報発信を行っている中で気づいた、日米の考え方や働き方の違いから、日本のデジタルトランスフォーメーションの再考を試みます。アメリカでは何故デジタル化が進む

のか、SaaSに対する姿勢はどう違うのか、セキュリティにどう対応しているのか等、主にITに対する考え方について考察していきます。

**【講師略歴】**1997年、日本ユニシス入社。システムエンジニアとしてミドルウェア開発に従事後、コンサルタントに転身。その後、テレビ通販事業立ち上げ、運営責任者を経験。日本ユニシスグループ社長業務秘書として広報活動に従事後、2019年4月、現職に就任。

## これからのPMセミナー予定

2022年度も各地でPMセミナーを開催します。ぜひご参加ください。



開催日	名称	開催地	会場		
2022年	6月10日	金	関西PMセミナー	大阪	マイドームおおさか
	7月8日	金	北海道PMセミナー	札幌	札幌市民交流プラザ
	10月7日	金	中部PMセミナー	名古屋	ウイックあいち
	10月28日	金	中四国PMセミナー	広島	広島YMCA 国際
	11月11日	金	産学官連携PMセミナー	東京	タワーホール船堀
	11月12日	土	PMAJSIG 全国大会	東京	タワーホール船堀
	11月25日	金	東北PMセミナー	仙台	仙都会館 (予定)
	12月9日	金	九州PMセミナー	福岡	電気ビル共創館
2023年	1月27日	金	新春PMセミナー	東京	タワーホール船堀
	未定		沖縄PMセミナー (隔年開催)		

## 特別講演 SP-21 IOWN/6G時代のデジタル社会に向けた富士通の取組み

11:20~12:20

富士通株式会社 未来社会&amp;テクノロジー本部 エグゼクティブディレクター

宮田 修次 T



IOWN/6G時代には、デジタルトランスフォーメーションの更なる進化により、デジタル空間と実社会がリアルタイムに連動するSociety5.0の実現が期待されている。

この実現を支える情報通信ネットワークインフラには、桁違いの要求性能という技術課題の解決だけでなく、圧倒的な電力消費量の削減など、社会課題の解決との両立が求められている。

富士通は無線・フォトニクス・コンピューティングという長年磨き上げ

てきた3つのテクノロジーを軸としたインフラ技術開発に幅広く取り組むと共に、3つのテクノロジーを融合したデジタル未来社会インフラの提供による課題解決への貢献を目指している。あわせてNTTが提唱するIOWN Global Forumへの積極的な貢献を通じ、これから技術開発成果のグローバル市場への提供を目指している。本講演では、IOWN/6G時代のデジタル未来社会インフラ実現に向け、技術動向及び取り組みのポイントを紹介する。

## 【講師略歴】

1995年富士通株式会社入社。ルータ開発部門に所属し、アーキテクト、ソフトウェア開発に従事。その後、セキュリティ製品、仮想化基盤、モバイル/フォトニクス製品等、多様な開発に従事。2019年フォトニクスシステム事業本部長代理、2021年IOWN/6Gプラットフォーム開発室長、同年7月より現職。

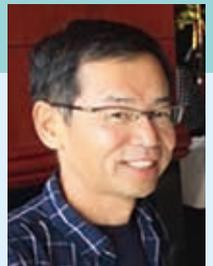
## 特別講演 SP-22 ものづくりの進化で示す日本の強さで未来の暮らしをビジョンする

13:20~14:20

～SDGs未来都市の地域創生と研究開発～

石巻専修大学理工学部 教授

梅山 光広 S



大規模震災、世界的なパンデミックと気候変動、富の偏在を起点とした社会的分断の中で、世界はSDGsの目標のもとに団結して社会基盤強化の取り組みを続け、各方面の理解の進展とともに地域住民を巻き込みつつ進行している。まさに100年に一度の今、日本人の心で気づく新しい価値と日本の匠の技との融合をデータサイエンスを駆使して探求する人たちが未来を創る。推進力の源泉は、ビジョンを共有し、お互いを信頼して、年齢や立場を超えて一緒に取り組むことにある。2020年に石巻市はSDGs未来都市に選定され、

部品リユースによる電動モビリティを地域事業者が製作、再生可能エネルギーを使って地域コミュニティで運用する事業を展開している。

講演では、未来を担う若手の育成について述べ、SDGs未来都市の取り組み、さらに未来の街づくりの視点から将来モビリティを考える研究を紹介する。誰一人取り残さない、そして安全で安心で生きがいのある暮らしのために誰もが協力して取り組む先に、地域コミュニティの再生と地方都市の再生があると確信する。

## 【講師略歴】

トヨタ自動車では、各種ハイブリッド車、燃料電池車などの研究開発と製品化を担当。技術統括時代に、CO<sub>2</sub>低減環境シナリオ、街づくりのコンセプトを検討。その後、AIを活用したパワートレイン開発手法の研究に従事。石巻専修大学に転籍後は、SDGsに基づく街づくり、再生エネルギー活用的小型自動モビリティを研究中。

## 特別講演 SP-23 複数大学連携PBLでのチームティーチングによるイノベーション人材の育成教育

14:40~15:40

公立はこだて未来大学 情報アーキテクチャ学科 教授

大場 みち子 L



社会課題が山積し、未来の予測が困難な時代においては、新たな価値創造ができるイノベーション人材の育成が求められている。この解決策として、さまざまな課題を発見し、ICTで課題解決を行う問題解決型学習(Project Based Learning: PBL)が注目されている。従来のPBLでは企業での開発経験者が指導やサポートをしていた。本学のPBLでは、文理融合の複数大学でプロジェクトを組んでサービスやビジネスモデルを企画・開発することでイノベーション

人材の育成を目指している。このPBLの大きな特徴はPBLを受講した卒業生、教員、協力企業が連携して指導する体制である。特に、卒業生はPBLでの経験および社会人としての実践に基づいて、先輩が後輩をサポートする循環型の人材育成でロールモデルにもなっている。本講演では10年以上に渡る蓄積されたノウハウと継続的な改善に基づく卒業生・企業人・教員のチームティーチングによるイノベーション人材の育成教育についてを発表する。

## 【講師略歴】

1982年(株)日立製作所入社。知識工学応用研究、ミドルウェア開発に従事。2010年より公立はこだて未来大学 情報アーキテクチャ学科 教授、知的行動の記録と分析、ソフトウェア工学などの研究に従事。2001年大阪大学大学院博士後期課程修了、博士(工学)、日本学会会議員、情報処理学会フェロー。

## 特別講演 SP-24 発酵は楽しい! 私の酒造り

16:00~17:00

～小さな酒蔵で挑む女性杜氏の大きなチャレンジ 身体にやさしい日本酒を～

向井酒造株式会社 製造責任者(杜氏)

向井 久仁子 S



酒蔵の長女に生まれ、両親に反発しながらも尊敬する恩師や先輩との出会いをおして酒造りの道を歩むことになった。清酒製造の技術が上がれば、全国で美味しい日本酒を楽しむことが出来る世の中になり、大学の恩師の「これからの時代、話題性のある酒造りも大切」との言葉から、恩師と共に新酒開発に力をいれた。できたお酒は赤い色をしたフルーティなお酒「伊根満開」。現在、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、シンガポールなどに輸出し、各国の星付き

レストラン(グルメ界のアカデミー賞とも称される「世界のベスト・レストラン50」で過去に4度、1位を獲得したデンマークの伝説的レストラン「nomal」他)などで提供されている。話題を呼んで2019年の大阪サミットでも提供された。講演では、小さな酒蔵の今までにならぬ日本酒造りへのチャレンジの話と、コロナ禍のなか気づかされたことで生まれた新たな試み。自分の体は自分で守る! 酒粕と発酵食で体をより強くする楽しいヒントをお伝えしたい。

## 【講師略歴】

1975年9月5日生まれO型。二階が住居一階が船のガレージで有名な舟屋の町、伊根町にある向井酒造の3人姉弟の長女。平成10年東京農業大学を卒業後、実家に帰り、杜氏として向井酒造の酒を醸す。現在は12歳下の弟がもどり社長に就任し、私が杜氏を務め姉弟で家業の存続と、地域社会に貢献できる会社を目指して頑張っております。

## プロジェクトマネジメント実践

PM-21

### 世界で求められるPMスキル/スケジュール/データ マネジメント

～グローバルプロジェクトにおけるリスクヘッジ手法・日本がグローバル社会で生き残るには～



小林 潤

ターナー&タウンゼント株式会社 プロジェクト・マネジメント部 Associate Director

グローバル化が進む現代において、日本がこのグローバル社会で生き残る為には、どのような視点でのプロジェクトマネジメントが必要で、海外ではどのようにマネジメントをして、リスク回避やプロジェクトを成功に導いているのかを紹介する。様々な人種や文化が入り交じるニューヨークの地で学んだ工程計画・管理・リスク分析を通して、今後の日本にはどのようなPMスキル/スケジュール/データマネジメント手法を

取り入れるべきなのかを実例と共に説明する。また、日本にはあまり馴染みのない建設裁判やBIMとスケジュール/コスト・データを連結した4D/5Dモデリング等も海外での実例を紹介しながら説明する。

**【講師経歴】**コロンビア大学建設管理学修士課程終了。ニューヨークの米系建設コンサルティング企業でプロジェクト・工程管理のコンサルティング業務に8年間従事。マディソン・スクエア・ガーデン、ワールド・トレードセンター・タワー2&4、JFK空港Deltaターミナル、コロンビア大学 大学病院棟、メモリアル・スローン・ケタリング癌センター、ハドソン・ヤード再開発、マンハッタン・ウエスト再開発プロジェクトの工程起案、工程管理、建設裁判など様々な視点からプロジェクトのマネジメント業務に携わる。BIMとスケジュール/コスト・データを連携した4D/5Dモデリングや工程進捗分析等を用い、リスク分析を行っている。

## プロジェクトマネジメント実践

PM-22

### プロジェクトをダメにするリーダーの考え方

～本当のプロジェクトマネジメントとは～



横山 信弘

株式会社アタックス・セールス・アソシエイツ 代表取締役社長

世の中には実務能力が高い人材はとても多いが、それらの人材を束ねて新たな価値を生み出す能力を持つ人材はとて少ない。とくにプロジェクトマネジメントを任せられる人材は稀有な存在だ。組織改革プロジェクト、新商品開発プロジェクト、若手社

員育成プロジェクト等、どのようなプロジェクトでも成果を出せるマネジメント能力を身につけよう。また、どんな組織リーダーがプロジェクトをダメにするかも解説する。

**【講師経歴】**企業の現場に入り、目標を「絶対達成」させるコンサルタント。最低でも目標を達成させる「予材管理」の理論を体系的に整理し、仕組みを構築した考案者として知られる。12年間で1,000回以上のセミナーや講演、書籍を通じ「予材管理」の普及に力を注いできた。大企業から中小企業に至るまで、200社以上を支援した実績を持つ。

## プロジェクトマネジメント実践

PS-21

### 気候変動と自己肯定感



谷口 たかひさ

環境活動家

**【環境活動家として気候変動ついて、以下のテーマで語る】**

- プラスチック汚染:1週間|クレジットカード1枚分のプラスチックを食べている
- 気候災害:豪雨、火災、海面上昇
- 「気候変動で最初に失うものは自然ではなく平和」
- 「無関心でいられる人はいても無関係でいられる人はいない」

- 海外の子どもの動き:海外では子どもたちが学校を休みデモをしている
- 時間と共に価値が減るお金:世界で最も成功しているドイツの地域通貨
- 私たちにできること:選択と行動
- 日本とヨーロッパの教育の違い:日本は「義務」は教えるけど「権利」は教えない
- ノミの話 ■「正しさ」より「楽しさ」 ■希望 - 3.5%の法則

**【講師経歴】**10代の時に起業、イギリスへ留学。アフリカでの学校設立、グローバルIT企業の取締役を経てドイツで起業。気候危機を知り、環境活動家に。2年で1,000講演、2021年国連総会で司会&スピーチ。ドイツ商工会議所SDGs賞審査員。

## ヒューマンスキル

HS-21

### SNSを超える第四の居場所

～これから必要とされるコミュニティのカタチ～



岡田 尚起

ゆめのたね放送局 代表

多様性とはいったい何か。それは、すべての人たちが自分らしく生き、互いに認め合っていくことだと思う。一人ひとりがみんな違う。しかし、その違いの中に必ずや通じ合える部分がある。その通じ合う部分を確認し合える場。そうしたコミュニティを創造していくことこそが、これからの時代に必要だ。新たなコミュニティの創造。これは、これからのビジネスシー

ンにとっても非常に重要な要素になることは間違いないだろう。SNSなどのバーチャルなコミュニティばかりでなく、生身の人間同士が関わり合うことができる場。そうした場が新たなビジネスを生み出していく。この講演ではそのヒントが隠されている。

**【講師経歴】**700名の市民がパーソナリティとして活躍するインターネットラジオ局「ゆめのたね放送局」を経営。2016年、関西テレビ「ザ・ドキュメント」にて特集され、第25回FNSドキュメンタリー大賞にノミネート。2017年、初の書籍「SNSを超える第4の居場所」を出版。瞬く間に全国書店でランキング入り、即重版が決まるなど話題となった。

昨年参加者のひとこと

複数の講演を動画配信で自由な時間で受講できて大変良かったです。



(50代 建設)

昨年参加者のひとこと

単純なるPM技術だけでなく、多種多様に学べるイベントで参加して良かったわ。



(40代 IT)

昨年参加者のひとこと

コロナ禍で今だから出来ること取り組むべきことの気づきが多かったです。



(30代 製造)

ヒューマンスキル

**HS-22** 事業シフトに求められる人材の変革  
～新事業創出に向け、試行錯誤で進めた人材・組織改革～



相澤 淳 S

パナソニックソリューションテクノロジー株式会社 技術部門 技術戦略部 部長

社会課題や市場、顧客のニーズに合わせ、戦略・事業は変わり、求められる人材も変化していく。そこで必要となる「人材のスキルチェンジ」に向けて、組織・会社は具体的に何をすればいいのだろうか。約10年前、当社では、それまで半導体設計や液晶素材の研究をしていたようなエンジニア達が数百人集まり、畑違いのクラウド事業創出のチャレンジをスタートした。現在、労働力の不足を解決するソリューションなどを提供

する会社として世の中に貢献できるまでに至るまで、体制・風土・スキル・意識改革など、多くの課題に直面し、紆余曲折を経ながらも進めてきた当社事例を紹介する。

**【講師略歴】**1999年松下電器産業株式会社入社。携帯電話機のソフト開発、コンテンツ企画、サイト運営に従事。2013年、クラウド事業創出プロジェクトへ参画、戦略立案とともに人材のスキルチェンジに携わる。母体となった現職では、経営企画・マーケティングを担当後、現在は技術戦略部で技術戦略策定・技術人材育成を推進中。

戦略及びビジネスマネジメント

**BS-21** DX推進に効く！ローコード開発環境の戦略的適用  
～現場のイノベーションを支える活用事例～



皆川 あゆみ T

株式会社富士通エフサス SB本部 デジタルサービスインテグレーション統括部

変化し続けるビジネスにすばやく対応し、自分たちの顧客へより貢献できる体質へ変革したいという高い期待が各組織にはある。その解決手段の一つであるLCAP(Low-Code Application Platform)は、IT部門やICTサプライヤーから広く注目されている。

当社も2019年より「Microsoft Power Platform」のサービスを提供開始し、30社以上の顧客を支援してきた。その実績から「どうすればLCAPが組織に浸透し、継続して活用されるか」を解決する運用戦略の観点が肝要と考えている。本講演では、LCAPの活用・展開と運用戦略について、具体的な事例をもとに紹介する。

**【講師略歴】**2005年入社、現職。オンプレミスの小規模システムからM365導入プロジェクトまで、Microsoft製品の案件を担当。近年はMicrosoft Power Platformを活用した企業のDX推進を後押しすべく、展開や人材育成計画の立案、アプリ開発や運用に至るまで幅広く、数多くの顧客を支援している。三児の母として家庭内のPMもこなす。

戦略及びビジネスマネジメント

**BS-22** パーパス経営の視点からみたイノベーションマネジメント



新谷 幸弘 CP S

千葉工業大学 社会システム科学部 経営情報科学科 教授

パーパス経営とは企業の存在意義を重視した経営のことを指す。志の経営とも呼ばれ、企業が存在する理由を深く追求することで、道筋のある経営が実現できるとされる。一方、イノベーションマネジメントとは、イノベーションを生み出し続けるための環境づくりを行うためのあらゆる手法を指す。継続的なイノベーションの創出には不確実性を前提にして、「創造/アイデアエイション」・「試行/プロトタイプング」・「学習」

の循環型マネジメントが必要である。当講演では、企業の研究開発事例に着目し、パーパス・マネジメントの観点から再整理し、イノベーションマネジメントに活かす方策についてまとめる。

**【講師略歴】**スリーエムジャパン株式会社、横河電機株式会社等、外資系グローバル、内資系グローバル、並びにスタートアップ企業にて研究開発プロジェクトを牽引した実務経験を有する。資格等：博士(工)、MBA、上席化学工学技士、Registered Product Owner、Registered Scrum Master。

人財育成・働き方改革

**HR-21** サステナブルキャリア構築と地方創生の可能性  
～人生100年時代“最初の一步”の作り方～



大桃 綾子 L

Dialogue for Everyone株式会社 代表取締役 / JOINS株式会社 カスタマーサクセス

労働力人口の4割を占める40代50代ミドルシニア世代。“会社にキャリアを預けることが良い”とされた時代から、人生100年時代にどうフィットさせるのか。2020・2021年度連続して内閣府「関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築に関する調査・分析業務」採択を受けた越境学習プログラム「ふるさとみつつけ塾」における、ロールモデルの具体的な学びと行動変容をベースに、政策動向やミドルシニア

の越境学習をどう地域や企業人事が受け止めているのか、地方創生への貢献となる可能性についてもご紹介いたします。

**【講師略歴】**新潟出身、東京外国語大学卒業、慶應義塾大学大学院社会学研究科修了。三井化学(株)にて約10年間人事・事業企画を経験。工場人事、グループグローバル人材開発、中国・韓国の新会社設立PJ等に従事。(株)トリドールホールディングスを経て現職。地方企業×副業兼業人材マッチングサービスJOINS(株)取締役(2020年4月～2021年9月)。

人財育成・働き方改革

**HR-22** ピンチをチャンスにする組織成長  
～ダイバーシティ経営・健康経営は中小企業こそ！～



大橋運輸株式会社 代表取締役社長 鍋嶋 洋行 / 管理栄養士 太 美善 / 総務課CSV・ダイバーシティ推進室 部坂 菜津子 S

2060年には高齢化率が40%を占め、今後日本では少子高齢化が進んでいく。その中で99%を占める中小企業は、これから地域課題が増えてくる中で重要なポイントとなりうる。弊社は、地方中小運輸業で人材確保が困難な状況にいち早く直面し、ビジネスモデルの転換・ES向上(健康経営)・ダイバーシティ経営・地域活動などを推進。多様な属性の一人ひとりの活動を促す10年にわたる制度整備・組織風土づくりで社

員のプロ意識向上と業績拡大をねらった。本セミナーでは各種具体的な施策とトライ&エラーの経験談を、社長・社員の目線から伝える。2021年新・ダイバーシティ経営100選アライムを受賞。

**【講師略歴】**鍋嶋 洋行：地元信用金庫に7年勤務後、妻の祖父創業の運輸会社に平成10年4月入社、同年11月代表取締役に就任。/太 美善：2020年入社。「治療より予防」の観点から健康経営の具体的な施策に取り組む。/部坂 菜津子：2018年入社。総務課にて、社内の職場環境づくりと地域活動の運営を行う。

人財育成・働き方改革

HR-23 ハートグラムを活用したプロジェクト適性の見極め方

～DX時代を切り開くPM人材になるために～

株式会社決断力 代表取締役

高島 徹 CP L



プロジェクトの成功要因として、ピープルスキルへの注目度が高まっている。プロジェクトとはメンバーの協力が重要で、論理的に正しいだけではうまくいかないことは、現場を多く経験した人であれば実感していることと思う。どんなプロジェクトリーダーにメンバーはついていきたいと思うのか?それは、メンバーのことを気遣うことができるリーダーである。DX時代はテクニカルスキルを中心に語られることが多いが、コロ

ナショックで人々の絆の大切さに気づいた人は、それだけでは満足していない。ピープルスキルを簡単に診断できるツール「ハートグラム」を活用して、PM自身を知ると同時に、メンバーへの効果的なアプローチ方法を考えてみたい。

【講師略歴】1963年香川県生まれ。神戸大学経済学部卒業。1986年松下電器産業(現パナソニック)入社。松下幸之助の直轄部隊として、20代から経営者の意思決定をサポート。28年間で85個のプロジェクトで経営成果を挙げる。2014年株式会社決断力を創業、2021年株式会社ピープルスキルを創業。研修講師として、官公庁、自治体、上場企業、研修会社での実績多数。

社会課題解決

SS-21 気候中立に貢献する開発プロジェクトの社会実装

～千代田スケールアップエンジニアリング～

千代田化工建設株式会社 フロンティアビジネス本部 上席参与

細野 恭生 S



2050年気候中立の社会を目指して世界が動き始めている。それには、極めて高い技術的・社会的ハードルがあり、革新的イノベーションが必要である。優れた技術の芽がでてそれをうまく社会実装させるには、卓越したエンジニアリングスキルが求められる。千代田化工は、これまで多くの社会課題に対してそれぞれに適した技術を開発し、商用化に導いている。ここで蓄積した千代田スケールアップエンジニアリング

(C-SUE)手法を気候中立のための技術開発にも適用したい。本講演では、C-SUEがどういうものかを具体的な過去の事例を紹介しながら説明し、現在進めている気候中立のための開発事例を紹介したい。

【講師略歴】1978年入社以来石油化学・ガス・環境分野プロセスの開発・設計業務を担当し、2008年技術開発本部長、2013年執行役員を経て、現在現職にて脱炭素分野のアドバイザー業務を担当。専門は化学工学で各種プロセス開発業務と通じてスケールアップエンジニアリングの具現化に尽力。石油学会副会長、技術士、上席化学工学技士。

社会課題解決

SS-22 デジタルの架け橋が地域の未来を拓く!

～地域移住型DX変革プログラムの挑戦～

富士通Japan株式会社 武野 竜也/長野県伊那市 志知 貴文/群馬県嬭恋村 山口 倫照/北海道神恵内村 福地 達貴 S



富士通Japanでは、地方創生実現に向け、各地域にDX専門人材を送り込んで様々な事業に取り組んでいる。その背景及び事業の全体像を概観したうえで、実際に地域に飛び込んだ3人の講演者から生の声でご紹介する。

長野県伊那市: Society 5.0社会の実現に向けた伊那市の行政施策や、出向で感じたベンダーとの時間軸の違いなどについてご紹介(志知 貴文)

群馬県嬭恋村: スマートシティを推進する嬭恋村や自身のミッションについてご紹介。加えてベンダーへ求める事等をご紹介(山口 倫照)  
北海道神恵内村: 村内の全戸訪問やワークショップに基づいた次年度のDX予算策定や、村のプロモーションについてご紹介(福地 達貴)

【講師略歴】武野 竜也: 2012年富士通(株)に入社。現在は地方創生に従事。/志知 貴文: 2006年地方独立系Sierでキャリアスタート。2018年に富士通(株)へ入社。2021年4月から伊那市役所へ出向。/山口 倫照: 2012年FEASTにSEとして入社。2021年から群馬県嬭恋村へ出向。/福地 達貴: 2019年富士通(株)にSEとして入社。2021年6月に神恵内村役場に出向。

社会課題解決

SS-23 SDGs事業 アジャイル的立ち上げ実践の報告

～PMI日本支部流SDGsスタートアップ方法論概説～

PMI日本支部 SDGsスタートアップ研究分科会 代表 稲葉 涼太/PMOリーダー 西原 真仁 S

S



PMI日本支部SDGsスタートアップ研究分科会は、内閣府「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の分科会メンバーとして、参加団体・企業の新規SDGs事業の立ち上げをアジャイル型の「SDGsスタートアップ方法論」を使って支援している。本分科会活動もこの4月で4年目に突入するが、各団体での支援を通して「SDGsスタートアップ方法論」も改善が進んでおり、アドバンスコースという個別企業・団体向

けのプログラムにおいて、その成果も出始めている。そこで、PMシンポジウムの場をお借りし、ご参加いただいているPMAJ会員様向けに同方法の優れた点やポイントを実際の事例を基に、ご説明したい。

【講師略歴】PMI日本支部SDGsスタートアップ研究分科会の代表(稲葉)とPMOリーダー(西原)。同研究分科会主催のプログラムを通して、参加企業・団体のSDGs事業立ち上げを支援している。また両名ともプロボノやPMOの立場で、複数のソーシャル事業立ち上げやソーシャルプロジェクトに参画している。  
稲葉 涼太: 株式会社Flexas Z General Managers, PMI日本支部理事, PMP/西原 真仁: 日本IBM株式会社セキュリティ事業本部シニアプロジェクトマネジャー, PMP。

その他人文学分野

SH-21 人のキャリアをどう考える

～キャリアコンサルタントの視点から～

BIPROGY株式会社 ビジネスサービス推進部

三宅 ひろみ L



コロナ後の社会環境は、私たちの仕事のやり方や、職業、そして、働く環境を大きく変えていくように感じている。今回は、キャリアコンサルタントの視点から、キャリアの考え方を紹介し、コロナ後の働く環境を考える。そして、私たちの働く組織環境を

変えて、キャリア自律で働く時代に、どう生きる?どう働く?どう自らの可能性を拓く?のか、中部PM研究部会の活動において研究した事例を紹介する。

【講師略歴】IT企業に約40年勤務。主に官公庁、自治体、大学法人等の各種業務システムの構築や業務パッケージ主管に従事。ITコーディネータ/PM/ISO9001内部監査人/PM研修講師。働き方改革、女性活躍推進に取り組み、国家資格キャリアコンサルタント/GCDF-Japanキャリアカウンセラー取得。

その他人文学分野

SH-22 ひとりぼっちのいない地域・社会を創る

～小さな町の地域コミュニティ「みんなのいえカラフル」の実践～



奥 結香 L

NPO法人TetoCompany 理事長

“ひとりぼっちのいない地域・社会を創る”をビジョンに掲げ人口2万人高齢化率48%、少子高齢化の先進地ともいえる大分県竹田市にて活動するNPO法人TetoCompany。2018年に乳幼児から高齢者まで障害の有無に関わらずだれもが集うことができる地域コミュニティ「みんなのいえカラフル」を開所し、来所者は年間のべ4,500人を超えた。放課後等デイサービス・児童発達支援事業もスタートし、

多様な方が集う継続性のある居場所となっている。「みんなのいえカラフル」に集う人々のこと、活動の原点や開所までの経緯、目指す未来について、インクルーシブな共生社会は誰のためなのか等について語る。

【講師略歴】NPO法人TetoCompany理事長。介護福祉士、特別支援学校教諭を経験のち青年海外協力隊としてマレーシアにて活動。その後、地域福祉の可能性を感じNPO法人TetoCompanyを設立。地域コミュニティ「みんなのいえカラフル」や放課後等デイサービス「アソビバTeto」等を運営している。

イノベーション

IN-21 革新的発想法による新事業創出

～デック思考で新たな製品・サービスを産み出す実践アプローチ～



川勝 良昭 S

経営コンサルタント/東工業株式会社 取締役

論点:

- ①日本は30年前から「構造的危機」に直面し、国際競争力で世界最低&多分野で世界の「蚊帳の外」。
- ②従来型のPMプロフェッショナルの大半は将来失職。
- ③社長や社員、特にPM従事者や組織内起業家に最も期待される事は、自社を発展させ、日本を救う「夢」を持つ事、

- ④その「夢」を叶える経営母体の「変身」と「破壊的ビジネス・イノベーション(0→1型=DX)」を実行する事、
- ⑤革新的発想法の「デック思考」に依る「優れた発想」を生み、新しい商品、サービス、事業を開発する事、
- ⑥「優れた発想」から計画～構築・建設～事業基盤完成～事業運営～「夢・成功一貫達成」する事である。

【講師略歴】経営コンサルタント。日本と海外の各種企業の顧問。中国政法大学客座教授。PMAJ理事。<前職>岐阜県理事。新潟県参与。韓国ソウル特別市・名誉大使&諮問官。NTT経営研究所、新日本製鐵、セガ等に勤務。東大、岐阜県立大、法政大、中央大、亜細亜大、NY州立大等の客員・特任教授&講師。早稲田大学第一法学部卒。

イノベーション

IN-22 社会貢献活動をもっと身近に

～生活者の豊かな日常と明るい未来を創るプラットフォーム～



兎玉 信人 S

BIPROGY株式会社 データビジネス創出センター センター長

「ボランティア活動への参加はハードルが高い」、「SDGsにある社会課題解決に向けた取り組みは身近に感じられない」といったような想いを解消し、誰でも社会貢献活動に参加できるサービスを私達は提供している。

者の連携による社会課題解決のモデル「BE+CAUS」について実例を交えながら紹介する。

本講演では、持続可能な社会の実現に向けたVision2030のもと2022年4月に日本ユニシスからBIPROGY(ビプロジー)へ社名を変更した思いと、企業・NPO・生活

【講師略歴】1998年大学卒業後、大手企業とベンチャーを経て2001年に日本ユニシス入社。SEとして様々なシステム開発を経験したあと2010年から営業へ移り、大手流通企業とのデジタルマーケティング共同事業に従事。その後も複数企業のマーケティング支援を行い、2018年から新規事業担当としてデータビジネスに携わる。2019年より現職。

イノベーション

IN-23 空間認識プラットフォーム BRaVS による社会課題解決



武井 宏将 T

BIPROGY株式会社 製造ビジネスサービス第一本部

BRaVS(Bridging Real and Virtual Space)は、人間の認識・判断を再現する空間認識プラットフォームであり、BIPROGY(旧:日本ユニシス)グループが長年培ってきた独自技術を元に、深層学習・画像処理・3Dデータ処理・音響処理をパッケージングしたライブラリとプラットフォームである。BRaVSの活用により、「デバイスによる空間センシング⇒データ収集⇒空間認識処理」の流れを具現化し、リアル空間の情報認識

と活用を可能にする。BRaVSは、設備や社会インフラの点検、人流解析や空間監視、農業領域等幅広く活用されている。

本講演では、BRaVSの概要とその活用を通じた社会課題解決事例を紹介する。

【講師略歴】2004年、日本ユニシス株式会社に入社。CAD/CAMシステムの開発に従事し、主に図形処理技術を担当。2011年より社会人大学院生として、データマイニングと3D形状検査の研究に従事。その後会社に戻り、現在は画像AI領域の技術適用業務および空間認識プラットフォームBRaVSの開発責任者。修士(数学)および修士(工学)。

P2Mプログラムマネジメント

P2Mは日本発のプロジェクト完成に導くプロジェクトマネジメント体系じゃ。「プログラム&プロジェクトマネジメント標準ガイドブック」改訂3版が最新じゃ。PMAJが普及・P2M資格認定を担当しているんじゃ。



「P2Mツリー」はP2Mガイドブック(改訂3版)の知識体系です。プログラムマネジメントは、統合マネジメントのプロセス(ミッション・プロファイリングなど)の説明と、これと密接に関係する戦略マネジメント、リスクマネジメント及び価値評価のマネジメントについて、相互の関係を説明しています。プロジェクトマネジメントの部分は、ISOによる国際標準を参考にしています。

ガイドブックではプログラム・プロジェクトマネジメントの実行を支える基盤的知識群を3領域(事業経営基盤、知識基盤、人材能力基盤)に分けて説明しています。

会員活動

**AJ-1** PMRが語る プログラムマネジメントの勘所  
～プログラムマネジメントを自在に活用しよう!～



枝窪 肇 / 林 健太郎 S

PMAJ Advanced PMR Club

P2Mを学ぶ際、プロジェクトマネジメントは実務経験と照らし合わせやすく、理解が進みやすいが、プログラムマネジメントはどのような場面に適用すれば良いのか?など、なかなか腑に落ちない側面がある。Advanced PMR Clubは、プログラムマネジメントの普及促進を目的に活動している。本講演では、プログラムマネジメントの適用範囲の側面から選択した2件の「プロ

グラムマネジメント事例」を紹介する。  
1.建設会社の地球環境への取り組み:林 健太郎  
2.所属組織でのマネージャー育成:枝窪 肇  
併せて「プログラムマネジメント実践事例集(エッセンス版)」の最新版をPMAJ Web Pageで公開する。ぜひ皆様にもPMRを目指していただきたい。

【講師略歴】枝窪 肇:電機メーカー勤務33年、システムエンジニアリング～PM～品質保証に従事。/林 健太郎:建設会社勤務34年、建築設計～プロジェクトマネジメント～経営企画～技術営業～CSRに従事。

会員活動

**AJ-2** 中小規模製造業のプログラムマネジメント  
～プログラムは「サービスモデルで価値創造を行う」から考える～



藤澤 正則 S

PMAJ Advanced PMR Club

2005年から17年間、食品メーカーの中小規模の組織において、「事業環境が変化する中で自分達の締め切りのある想いを実現する」ために、P2Mの見方、考え方、進め方を活用してきた。特に、プロジェクトマネジメントやP2Mになじみのない組織に対しては、「自分達の実現したいことは何か」を明確にした上で「それを実現するための進め方として、3Sモデルを活用したフレームワークで行うと、効率的かつ有効的に進

めることができる」と説明し、関わる人に成果を実感してもらえるように進めていった。この講演では「サービスモデル(運用モデル)で価値創造を行う」から考えるP2Mの3Sモデルの活用方法について紹介します。

【講師略歴】1985年4月食品メーカー入社、生産工場(製造管理)、本社(機械販売)、外部出向(コンビニエンスストアの組合)、本社(工場計画支援、事業支援と人材育成)を経験し、2010年よりグループ内出向(本社:工場計画支援、経営支援と人材育成、社外監査役など)。PMS(2002年)、PMR(2005年)、優秀貢献賞受賞(2019年)。

会員活動

**AJ-3** Society5.0時代のプロジェクトマネジメント  
～全産業で進むデジタル化におけるPMの役割～



大泉 洋一 T

PMAJ PM研究・研修部会

デジタル空間とリアル空間が高度に融合するSociety5.0の実現により、社会が大きく変わろうとしている。デジタルテクノロジーを用いて新たな価値を創出するデジタル・トランスフォーメーション(DX)は、個々の企業が提供するサービスのレベルにとどまらず、社会の仕組み自体を根底から変え始めている。その波は全産業に及んでいる。デジタルが主導するSociety5.0時代において、プロジェクトマネージャーはどのよ

うな役割を果たすべきなのだろうか。本講演では、デジタルが主導するSociety5.0の時代に対応していくためにプロジェクトマネジメントはどのように枠組みを変えていくべきか、論考する。

【講師略歴】(株)日本総合研究所(当時)に入社後、国の医療費分析等に従事。その後、厚生労働省の外郭団体である政策研究機関に研究員として出向。帰任後(後に会社分割により現社)ITコンサルタントとして活動し、2019年よりDXコンサルタントとしてDXビジネスの創出に従事。特に近年は、DXの中でもSociety5.0の実現を目指して活動。

会員活動

**AJ-4** PMBOK® ガイド 第7版概要解説  
～大規模改正の意図と第6版との違いとは～



大槻 直彦 T

PMAJ PM研究・研修部会

PMBOK® ガイド は、プロジェクトマネジメントの知識体系・フレームワークとして事実上のグローバルスタンダードとなっている。2021年7月には第7版が米国PMI本部より発行され、日本語版はPMI日本支部から2021年10月に発行された。PMAJ PM研究・研修部会ではPMBOK® ガイドの研究に常に注力してきた。今回の第7版についても、英語版発行後は全容の把握に取り組んできた。

本講演では第6版から大幅に変更されたPMBOK® ガイド 第7版の特徴を、第6版との違いを中心に大規模改訂の理由から関連するコンテンツおよび第7版発行後も引き続き第6版を学習する意義も含めて判りやすく解説する。

【講師略歴】PMAJ PM研究・研修部会・講師。PMI® 認定PMP®, PMAJ 認定PMS。石川島播磨重工業(株)(現株式会社HI)入社以来、海外プロジェクトの設計、PJ業務に携わる。PJコストコントロールでは海外パートナーとのJV構築に尽力、その傍らHIグループ内でのPM教育講座講師をつとめる。現在は(株)HIプラントにてPJ業績管理に携わる。

会員活動

**AJ-5** ユーザー企業のためのプロジェクトマネジメントフレームワーク  
～PRINCE2の実践～



尾形 順一 / 田中 繁光 T

PMAJ PM研究・研修部会

ユーザー企業は、新しい製品やサービス開発のためにプロジェクトを組成、事業目標を達成しようとする。ただ、プロジェクトが当初の計画通りに成功した事例は少ない。また、プロジェクトマネジメントフレームワークも、ユーザー企業のベネフィットに着目しているものが少ない。本セッションでは、ユーザー企業の視点から、プロジェクトを成功に導くために、グローバル・ベストプラクティスのプロジェクトマネジメントフレ

ームワークであるPRINCE2の全体像をご紹介、そして成果物重視の原則に基づいてユーザー企業のベネフィットを実現する仕組みについて解説する。

【講師略歴】尾形順一:日立製作所、デロイトトーマツコンサルティングを経て、Ridgelinez(リッジラインズ)に参画。ハイブリッドアジャイルのマネジメント担当。PMAJ公認PMS、PMI® 認定 PMP®, PRINCE2® Practitioner。/田中繁光:興亜火災情報システム(現:SOMPOシステムズ)に入社後、保険システムの設計・開発を担当し、2回の会社統合プロジェクトを経験。現在は生命保険のプロジェクト業務等に従事。PMI® 認定 PMP®, PRINCE2® Foundation。

会員活動

AJ-6 変化の激しい時代に求められる組織の変革アジリティ



PMAJ チェンジマネジメントSIG

香川 隆 L

変化の激しい競争環境を勝ち抜いていくには、企業の置かれた環境変化をいち早くとらえ企業がその環境において常に適し最適となるように「進化」するためのアジリティが不可欠となります。さらに、「進化」するにはこれまでの常識を見直し、やり方を変え「変化」することが必要となりますが、残念ながら変化に対しては常に潜在的な抵抗が存在します。変化に対する抵抗をマネージしながら変革をうまく進めるコツと、

企業が変化に対して迅速に対応しやすい組織像(組織アジリティ)を事例を交えて明らかにしていきます。

【講師略歴】 商社、外資系コンサルティング会社、事業会社での業務変革、新規事業立案の実施。2010年より現職。

【主な担当業界】 自動車関連、製薬、医療機器。【専門領域】 業務・組織変革の実現とそれに伴うチェンジマネジメント。新製品開発におけるプロジェクトマネジメント支援。企業の事業・技術戦略立案支援。

会員活動

AJ-7 DX 成功に組織アジリティは欠かせない!

～DX推進のためのアジャイル実践アプローチ～



PMAJ 組織アジリティSIG

小原 由紀夫 / 今野谷 史 L

今、ビジネス環境の変化によるプロセスや組織、企業戦略の変化に対応するDX推進が急務となっている。DXの成功には、組織として限られた時間とコストで短期に利用者へ新たな価値を提供し、変化に適応し、変化を創り出す組織アジリティが欠かせない。ソフトウェア開発にアジャイル開発を導入している企業はあるが、DX推進にアジャイ

ルを適用するアプローチは確立されていない。組織アジリティSIGでは、日本企業における特長を分析し、DXを推進するテーマに、経営層、ミドル、チームが連携してアジャイル実践アプローチを確立し、事例により検証した。これにより日本企業のDX推進に貢献する。

【講師略歴】 小原 由紀夫: 富士通株式会社にて3月までDX/アジャイルを推進。日本プロジェクトマネジメント協会編「アジャイル開発への道案内」共著者。PMP。SPC。/ 今野谷 史: 半導体メーカーに所属し、事業/製品開発部門のPMOを経て現在経営企画部門で車載向け新製品の開発、マネジメントプロセスの改善を担当。PMP。Six Sigma Black-belt。

会員活動

AJ-8 「できること」から「やるべきこと」へ

～ロードマッピングの活用とその成功要因～



PMAJ ロードマッピングSIG

佐藤 祐也 / 荒平 翔太 / 島田 恵子 / 風間 正行 S

不確実性の高い現代においても、将来を見据えた研究開発投資が依然として企業の競争力の源泉であることに変わりはない。将来仮説を基に目指す姿を描き、その実現に向けたシナリオを実行可能な計画に落とし込み、それを環境変化に柔軟に適応させる。効果的な研究開発投資を行うには、これら一連のプロセスを高いレベルで遂行する必要があり、ロードマッピングはそれを支えるマネジメント手法と位置づけられる。

本講演では、欧米中心の学術的研究から得られた枠組みを基に、日本企業の実践事例を分析した結果として、ロードマッピングにおける成功要因を整理し、効果的な実践のポイントを提案する。

【講師略歴】 佐藤 祐也: 製造業におけるR&D戦略の立案と実行に関するコンサルティング業務に従事。/ 荒平 翔太: 医療機器開発業務に従事後、現在はPMOにてプロジェクト支援、ポートフォリオマネジメント業務に従事。/ 島田 恵子: 医療機器開発業務に従事後、現在はポートフォリオマネジメント及びタレントマネジメント業務に従事。/ 風間 正行: 公益法人にてIT、ロジスティクスに関する調査事業等に従事。PMAJ認定PMS・技術士(経営工学・総合技術監理)。

会員活動

AJ-9 「たった1人からはじめるイノベーション実践」

～イノベーション入門から実践への知恵～



PMAJ PMマイスタ (京都大学経営管理大学院客員教授)

竹林 一 S

誰も彼もが、イノベーションが必要だといいますが、あなたの周囲でイノベーションに取り組んでいる人がどれだけいるのでしょうか。イノベーションという言葉の浸透度とは裏腹に、何をどうしたらいいのかわからないという方が多いのではないのでしょうか。そんな皆様へむけて昨年12月24日に「たった1人からはじめるイノベーション入門」という書籍を出版しPMAJ新春特別講演でもお話しさせていただきました。今回の講演

では、改めてこの本の内容を中心に「事業の軸の考え方」「起承転結人材と組織の創り方」等解説した上で、一人一人が実践していく為に何をしていくか共に考えたいと思います。

【講師略歴】 “機械に出来ることは機械にまかせ、人間はより創造的な分野での活動を楽しむべきである”との理念に感動して立石電機(現オムロン)に入社。以後新規事業開発、オムロンソフトウェア代表取締役社長、ドコモ・ヘルスケア代表取締役社長、同社インキュベーションセンター長を経て現在イノベーション推進本部シニアアドバイザーおよび京都大学経営管理大学院客員教授。

会員活動

AJ-10 プログラムマネジメントの大学教育への活用について

～P2Mのプログラムマネジメントを大学教育で適用した事例の紹介～



PMAJ PMマイスタ (株式会社彩成コンサルティング代表取締役社長)

濱 久人 L

プログラムマネジメントは、新規事業づくりのフレームとしても有効である。慶応義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科(SDM)では、通常の講座として、「プログラムマネジメント」を実施しており、さらに「プロジェクトデザイン合宿研修(以下:PD研修)」を一般公開講座として実施している。PD研修は、2008年から13回実施されており、計8日間にわたる社会人を対象とした

研修である。SDMの特徴であるシステム×デザイン思考を学ぶものであり、その中で、事業創出をまとめるプロセスとしてP2Mのプログラムマネジメントを活用している。本講演は、この内容についての紹介である。

【講師略歴】 大学卒業後、建設コンサルタントで10年、パナソニックにて、SE、企画、人材開発、そしてNTTデータユニバーシティで、PMなどの研修を担当。現在は、プログラム&プロジェクトマネジメントを中心に企業・公共機関や大学・大学院で研修を行っている。技術士(建設)。

PeopleCert

EX-1 AXELOSのPPMの概要と特徴

～成果物の提供から組織の戦略目標達成まで一貫したガイダンスを提供～



SOMPOシステムズ株式会社 木下 雅治 / Tide ONE株式会社 羽佐間 一潮

英国政府が開発したプロジェクト、プログラム、ポートフォリオマネジメント体系は現在 AXELOS 社に引き継がれ全世界で活用されています。成果物の提供、ベネフィットの実現から組織の戦略目標の達成まで一貫したアプローチを提供する AXELOS の PPM の概要と特徴を紹介します。特に世界で最大規模のプロジェクトマネジメントフレームワークである PRINCE2 と MSP がついに日本語化されます。ガイダンス、資格試験など含めた動向について併せてご紹介します。

【講師略歴】木下 雅治:PMAJ PM 研究・研修部会員、損害保険ジャパン、SOMPOシステムズでシステム企画、運用、プロジェクト、業務改革推進業務などに従事、PRINCE2® Practitioner, ITIL® Expert, PMP®, 修士。/羽佐間 一潮:PMAJ PM 研究・研修部会員、SOMPOシステムズ株式会社を2019年に退社後に同社を設立、SOMPOグループ会社向けにPMO業務を提供中、PeopleCert認定MSP講師、MSP1®/PRINCE2® Practitioner, PMPL®, CSML®。

株式会社ソフトロード

EX-2 AIを活用した画期的なモダナイゼーション!

～システムリフォームで、日本のシステム構築を改善する～



取締役 新妻 秀樹

2025年の崖問題をクリアし、DX-Readyを実現するには、現在まで培ったシステムを更新し、そのエッセンスをDX実現のための新たな技術基盤につなげることが、極めて重要となる。老朽化システムのJava化・クラウド化、DB正規化、疎結合化、スリム化、データ分析基盤構築などを実現する、「将来の主流開発モデル」とも呼ばれている高度なAI開発を紹介する。東証TOP200社中63社の利用実績も踏まえ、業務に貢献できている事例も説明する。

【講師略歴】2002年に株式会社ソフトロードに入社。以来約20年間にわたり日本企業のシステム更新に従事。Gartner、日経、ITメディアなどのイベントでの講演経験多数。

TIS千代田システムズ株式会社

EX-3 EVMの要点解説「% Completeの評価方法」

～進捗率(% Complete)算出方法のバリエーション～



EPMソリューション部 金子 健一

コストパフォーマンスやスケジュールパフォーマンスを測定できるEVMについて、コスト予算だけの管理と比較して概説します。また、EVMを実践するために必要となってくるデータの違いを紹介いたします。EVMの肝になる進捗率(Physical Progress, Percent Complete)など様々な呼称があります。測定・算出方法は、測定対象の作業ごとに異なるため、実は多岐にわたります。そこで、本講演ではプロジェクトの様々なフェーズや作業ごとに、どのような進捗測定の手法が使われているのかを、PRISM G2やPrimavera P6を使って紹介していきます。

【講師略歴】国内外のインフラ建設プロジェクトを中心に、プロジェクトコントロール部門(工務部門)様のスケジュールエンジニアリング、コストエンジニアリングをIT面からお手伝いできるよう日々精進しています。AAEC日本支部会員、PMP、ENAA L2PM修了、Oracle Primavera P6、ARES PRISM G2、Aconexほか。

日本オラクル株式会社

EX-4 スマート・コンストラクション・プラットフォーム

～建設プロジェクトのDX実現に向けて～



建設&エンジニアリンググローバル事業本部 セールスマネージャ 東根 正興

オラクル建設&エンジニアリングでは、PrimaveraやAconexといった建設業に特化したプロジェクト管理ソリューションで、建設プロジェクトの生産性向上に向けてグローバルに貢献している。オラクルでは、これらのソリューションを軸にして、関連する他のツールとも連携可能な「スマート・コンストラクション・プラットフォーム」を提案する。これは建設プロジェクト情報全体を一元化するプラットフォームを構築し、建設プロジェクト管理におけるDXを実現するもので、蓄積された各種情報をAI技術を活用し分析することで、インテリジェンスを与えることを目指している。

【講師略歴】オラクル建設&エンジニアリングで主にインフラオーナー企業および建設会社向けの営業を担当しています。前職ではBIM大手メーカーに所属し、国内建設業界におけるBIMの進展を見てきました。今は3Dモデルとプロジェクト管理の融合といったテーマが重要になっており、引き続き建設業界向けの提案活動を行っております。

Hexagon

EX-5 不確実性・複雑性を管理する3つのポイント

～不確実性に支配される前に管理する～



シニア インダストリー コンサルタント 松橋 健一

労働力不足・サプライチェーン混乱によるインフレ圧力に加え、パンデミック発生・地政学リスク発現が事業環境の不確実性・複雑性を増幅している。つまり、VUCA(Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity)環境を管理していくことが、事業の運営および成長に不可欠な時代を迎えた。本講義ではこの環境に対応するプロジェクト管理を以下の3つのポイントで実際のツールも使いながら解説する。①進捗予測と変更管理②情報一元管理と情報活用迅速化③企業体視点でのプロジェクト管理 <講義構成> 1. 環境分析 2. ビジネスへの影響 3. プロジェクト管理の在り方 4. 具体的施策 5. ビジネス効果

【講師略歴】防衛大学校卒業、大手製造業・システムインテグレータを経て、現職。事業継続性を担保しつつ、事業戦略を推進するために、特にリスク管理を重視したプロジェクト管理を得意とする。

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

EX-6 メンバーが納得して動いてくれるプロジェクトマネジャーとは?

～パーパス経営から考えてみる～



パナソニック 経営理念伝道師 佐藤 昌夫

最近では在宅勤務続きで顔を合わせる機会が減り、マネジャーの皆さんは「パワハラなどにも気を付けられない」といけません。環境変化の中で、思ったようになかなか行動しない・行動できないメンバーも…。そこで、リーダーシップについて、コミュニケーションについて、人が動いてくれるためのポイントや人を育てることについて、一緒に考えてみませんか。答えがある訳ではありませんが、パナソニックの「パーパス」を中心とした事業の進め方が何かのヒントになれば幸いです。<同時上映>PM資格にチャレンジ!!では、日本プロジェクトマネジメント協会のPM資格(PMC、PMS)と、おすすめの学習方法についてご紹介します。

【講師略歴】パナソニックソリューションテクノロジーでは、ご好評をいただいております「P2M資格試験対策講座シリーズ」[経営理念研修]の他にも幅広く人材育成メニューをご用意しております。▼人材育成ソリューション: <https://www.panasonic.com/jp/business/its/hrd.htm>

グローバルプロジェクトデザイン・ジャパン株式会社

EX-7 DXに必要なアジャイルとプロジェクトデザイン



代表取締役 池 大

企業がDXを通じて、デジタルトランスフォーメーションを起こすには、ステークホルダーを巻き込み、日々状況や要求がダイナミックに変化するプロジェクトを推進する必要があり、これを実現するにはアジャイルという考え方が有効です。そして、アジャイル型のプロジェクトを推進するには、日々変化するプロジェクトのプランを絶えずデザインするというプロジェクトデザインという考え方が有効です。この講演では、DXとアジャイルとの関連。そして、アジャイル型のプロジェクトを成功させるためのプロジェクトデザイン方法論とそれを実現するためのツールのTeamPortについて説明させていただきます。

【講師略歴】IT業界で30年以上の経験。IT関連のプロジェクトにSEおよびコンサルタント、PMとして多数参加。また企業のアジャイル開発導入に向けての教育/支援を行っている。リスクマネジメント協会会員 Certified Risk Manager。

プラネット株式会社

EX-8 ひとつのチョンボから次のチョンボへ

～プロジェクトマネジャーの品格 一目標、偶然、レジリエンス～



コンサルタント 中嶋 秀隆

「成功とは、ひとつのチョンボから次のチョンボへ、やる気を失うことなく移行すること」(チャーチル)という定義がある。このセッションでは、恥ずかしながら、私の数々のチョンボ(失敗談)をまず紹介しよう。次に、PMの中枢である「目標」を、個人のレベルのものとして考える。プロジェクトが初めの手をかけるぶん、チョンボは避けられない。とはいえ、そのたびに落ち込むのはまずい。そこで、チョンボに表裏する「偶然」の意味をとりあげ、まとめとして、修羅場を乗り越える力である「レジリエンス」を強化する方法と、「自分を笑い飛ばす」ためのヒントをお示ししたい。

【講師略歴】京セラ、インテルなど、日米の有力企業に約20年間勤務し、半導体工場の立ち上げなどの国際プロジェクトにPMとして参画。その後、研修・コンサル会社を立ち上げ、PM技法やレジリエンスなどの研修、およびコンサルテーションを行っている。IPMプロジェクトマネジメント「改訂7版」(JMA)など、著書・訳書多数。

PMAJ情報提供サービスご紹介

- PMAJジャーナル**  
PM特集記事やPM実践事例、読者のコーナー等で編集された機関誌「PMAJジャーナル」を掲載します。(年3回) 実践活動の参考資料として役立つことができます。(会員限定)
- PMAJ動画アーカイブ**  
PMセミナーやPMシンポジウムの講演動画のうち、講演者の理解を得られたものからいくつかを選んでオンデマンドで配信いたします。(会員限定)
- PMAJオンラインジャーナル**  
ネットワーク上の「広場」、「コミュニティ」のイメージで、どなたでも参加できます。開設以来毎月欠かさず発行しており、会員と会員外の皆様から根強い支持を得ています。
- PMAJ-便り**  
週1回、PMAJの最新の活動状況や直近のイベント案内、また役立つ情報をメールにて配信しています。
- 協会所有の図書等の閲覧が可能**  
プロジェクトマネジメント専門の協会ならではの書籍が多数あります。

PMAJでは情報提供サービスをやっているのじゃ。ぜひ活用してほしいんじゃ。また会員向けにはもっと色々提供しているぞ!



<https://www.pmaj.or.jp/kyoukai/nyukai.html>



## ● ライブ配信には、Zoomを採用

■ 事前に視聴環境の確認をお願いします。

ネット接続ができる環境で、PC・スマホ・タブレットなどから視聴できます。

視聴にはZoomアプリが必要ですので、お申込みの前に（Zoom提供のテストページ）にて接続確認テストをしてください。

当日、お客様の通信サービスや利用機器、ブラウザなどの影響により、聴講ができない場合、PMAJでも対応ができかねる場合がございますのでご了承ください。

## ● ライブ講演を会場で直接受講したい方

■ Day1、Day2それぞれお申込みの先着120名様まで会場で受講いただけます。

十分なコロナ対策を施したうえで実施の予定ですが、開催当時の状況によっては、無観客講演に変更することがあります。

## ● ライブ配信・録画配信を問わず、配信内容の録画・録音、ならびに正規申込みされた方以外の視聴は禁止とします。

■ 講演動画の著作権は、講演者およびPMAJに帰属しており、この動画の一部分または全部を著作権者に無許可で使用することは、著作権法に反することとなります。

## ● 最新情報はPMAJの公式WEBページにて随時更新します。

■ 詳細情報につきましては、右記URLからご確認ください。



<https://www.pmaj.or.jp/sympo/2022/index.html>

### 協賛・パートナー企業



## お申込み方法

WEBページにてお申込みを受付けます。『PMシンポジウム2022』のご案内ページをご参照ください。  
<https://www.pmaj.or.jp/sympo/2022/index.html>



## 参加申込み期限・お支払い方法

	早期割引申込	通常申込	録画配信のみ申込
申込期限	～7月31日(日)	8月1日(月)～9月6日(火)	9月7日(水)～10月10日(月)
支払期限	8月5日(金)	9月9日(金)	・クレジット払いのみです。 ・申込受付後2営業日以内に決裁願います。 *決裁確認後2営業日以内に視聴用URLを送付します。

お申込み受付後、電子メールにて参加費等を記載したお申込み受付確認メールをお送りいたします。  
 また、お振込み時には、参加者名及び電子メール(受付確認メール)に記載のお申込み番号を必ずご記入ください。

- ※クレジットカードご利用の場合の手続きは、WEBページに記載しています。
- ※企業名でお振込みの場合は、事前に参加者名及びお申込み番号を事務局までお知らせください。
- ※請求書払いをご希望の場合は、余裕をもってお申込み願います。
- ※恐れ入りますが振込み手数料はご負担ください。
- ※お申込み後のキャンセル手続きは、WEBページに記載しています。

口座名：三菱UFJ銀行 本店 普通 0737079  
 名義人：特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会  
 (トクヒ)ニホンプロジェクトマネジメントキョウカイ

## お問い合わせ

日本プロジェクトマネジメント協会・事務局

E-mail : [admi-sympo-cs@pmaj.or.jp](mailto:admi-sympo-cs@pmaj.or.jp) TEL.03-6234-0551 FAX.03-6234-0553

## 参加費

注) 参加申込み時にPMAJに入会申込みの場合は会員扱いとなります。入会ご希望の方は、下記URLからお手続きください。  
<https://www.pmaj.or.jp/kyoukai/nyuukai.html> (消費税込)

	早期割引〔～7/31(日)〕			通常申込〔8/1(月)～9/6(火)〕			録画配信のみ申込〔9/7(水)～10/10(月)〕		
	Day1 9月15日(木)	Day2 9月16日(金)	Day1、Day2 通し	Day1 9月15日(木)	Day2 9月16日(金)	Day1、Day2 通し	Day1 9月17日(土)	Day2 9月18日(日)	Day1、Day2 9月17日及び18日
PMAJ個人会員	12,000円	12,000円	23,300円	14,000円	14,000円	26,000円			
PMAJ法人正会員の職員	14,500円	14,500円	28,200円	19,000円	19,000円	33,000円			
PMC、PMS、PMR有資格者	17,000円	17,000円	33,300円	20,000円	20,000円	38,000円	25,500円	25,500円	48,000円
ENAA賛助会員/後援・協賛 団体の職員、PMI会員、 ITC資格者	23,300円	23,300円	42,600円	25,000円	25,000円	45,500円			
一般参加者	23,800円	23,800円	46,000円	25,500円	25,500円	48,000円			
学 生	無 料 <small>学生を本分とする方(社会人学生は対象となりません)。証明書等は発行いたしません。</small>								

Day1 ———— 【内容】基調講演+特別講演 : 9月15日ライブ配信、9月18日～10月15日オンデマンド配信  
 カテゴリー講演 : 9月17日～10月15日オンデマンド配信

Day2 ———— 【内容】基調講演+特別講演 : 9月16日ライブ配信、9月19日～10月15日オンデマンド配信  
 カテゴリー講演 : 9月18日～10月15日オンデマンド配信



**PMAJ**  
 特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会  
 Project Management Association of Japan (PMAJ)

日本プロジェクトマネジメント協会(PMAJ)は、P2Mの資格試験や講習会、PMAJ会員のための定例の勉強会、PM研修、機関誌(PMAJジャーナル)の発行等を通じて実践的PMの普及活動を行っています。  
 このPMシンポジウムも会員によるPM実践の場として、多くのボランティアメンバーを交え企画運営されています。